

市民・事業所
アンケート調査結果報告書

平成 31 年 3 月

< 目 次 >

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 集計処理について	1
2. 調査結果の統括	2
(1) 市民アンケート調査結果	2
(2) 事業所アンケート調査結果	3
3. 調査結果の詳細	4
(1) 市民	4
(2) 事業所	39

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、市民・事業所を対象に環境に関する意識調査を実施し、地域で解決を目指すための課題を洗い出すとともに、今後の環境施策推進の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の方法

①調査時期

平成29年12月8日～平成29年12月25日

②調査方法

配布回収は郵送により行った。

③調査対象者

一般市民：市内に在住する20歳以上の方の中から無作為に抽出された1,000人に無記名方式により実施した。

事業所：市内の事業所から200事業所を無作為に抽出した。

(3) 回収結果

一般市民：41.5%（配布数1,000票、回収数415票）

事業所：48.0%（配布数200票、回収数96票）

(4) 集計処理について

・回答すべき設問に回答のない場合は、いずれも「不明」として集計した。

2. 調査結果の総括

(1) 市民アンケート調査結果

①身近な地域の環境や環境問題全般について

地域の環境に関する満足度が高いのは、空気のきれいさ、騒音や悪臭がないことなどで、重要度も高くなっている。

川の水のきれいさや広場・公園などの充実、ごみの投げ捨てについては、満足度が低く、重要度が高いことから対応が必要になる。野生の生き物や環境学習等の機会や場については、満足度で「どちらともいえない」の割合が高く、重要度が低いことから、市民の関心が低いことが伺える。

環境への負担軽減のために、多くの市民が経済的な負担の少ないごみのポイ捨てや廃食油の処理・回収などに取り組んでいるものの、経済的にもメリットのある節電への意識は低くなっている。また、環境に関するセミナーなどへの参加はわずかとなっている。

②環境に配慮した行動・活動の実践状況について

環境をより良くする活動としては、清掃・美化活動と資源回収・リサイクル活動の参加経験、参加意向のある市民が多くなっている。

一方、特定外来生物の駆除活動、ポスターや標語への応募などへの参加経験、参加意向が少なくなっている。参加する気がない理由としては、時間の確保と継続の難しが多いものの、きっかけがないやどのような団体があるかわからないなどもあがっていることから活動団体や活動内容に関する情報発信が必要になる。

③長浜市の環境保全・対策について

市が取り組むべきこととして、地球環境の保全で、再生可能エネルギーの導入支援とともに、国や県でも取り組まれている食品ロスの削減が多くなっている。生活環境の保全で、地域環境の中で重要度が高いごみに関することと、中心市街地で増えている空き地の適切な管理が求められている。自然や景観などの保全で、琵琶湖の保全とともに、自然環境保全や洪水防止などのための農地・里山の適正な管理が多く、全国で多発する異常気象が影響している可能性がある。環境意識を高める取組としては、学校教育における環境学習の実施が6割を超え、将来を担う子どもの教育が重要と考える市民が多いことが伺える。

環境全般に関する情報などを知る方法としては、新聞やテレビ、ラジオなどのマスメディアとともに、広報ながはまも多いことから、今後も環境に関する情報発信手段として活用が望まれる。

(2) 事業所アンケート調査結果

①環境への取組について

事業所内のごみの分別・減量と電源の管理は、9割以上の事業所で取り組まれており、将来の取組としては、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーシステムの導入があげられている。省エネルギーシステムの導入は、今後も取り組む予定がない事業所も多く、効果は理解されつつあるもののコスト面などから導入が難しいことがわかる。

環境管理については、従業員に対する環境教育や環境保全のための指針等の策定に取り組んでいる事業所が多く、環境報告書や具体的な行動計画の作成・公表、環境問題を担当する専門部署の設置には消極的な姿勢が伺える。

②環境への影響や環境保全に対する考えについて

事業活動が環境に影響があると考えている企業が7割を超えており、排煙や排気ガスによる大気汚染、電気等の使用による温室効果ガスの排出によるものが多いとなっている。

事業活動において環境保全に取り組む意義としては、企業の社会的責任が最も多いものの、経済的な負担がかからない範囲で取り組みたいと考える事業所が6割を超えており、設備投資などにコストがかかることが取り組む上での課題となっている。

地域の環境保全のために市民や市と連携してすでに活動している事業所は2割に留まっているが、活動したいと考えている事業所は6割を超えている。それらの事業所の活動内容としては、緑化・美化活動への参加が最も多くなっている。

③長浜市の環境保全・対策について

市が取り組むべきこととして、地球環境の保全で、再生可能エネルギーの導入支援とともに、設備導入によるエネルギー使用量の抑制が多くなっている。生活環境の保全のためには、ごみに関する取組とともに、事業活動が環境に影響があると考えられている大気汚染の防止対策が多くなっている。自然や景観などの保全で、琵琶湖の保全とともに、市街地の快適な環境の創出が多くなっている。環境意識を高める取組としては、学校教育における環境学習の実施が7割近くを占め、将来を担う子どもの教育が重要と考える事業所が多いことが伺える。

3. 調査結果の詳細

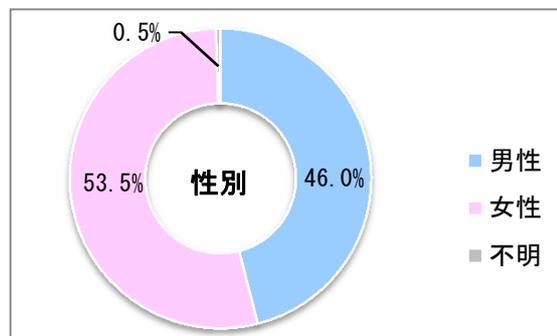
(1) 市民

I : フェイスシート

(F1) 性別

(どちらかに○)

	票数	割合
1 男性	191	46.0%
2 女性	222	53.5%
99 不明	2	0.5%
合計	415	100.0%

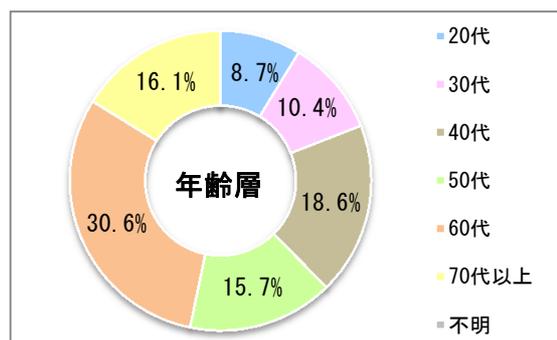


■『性別』は、「女性」が53.5%、「男性」が46.0%と女性の割合が高くなっている。

(F2) 年齢層

(1つに○)

	票数	割合
1 20代	36	8.7%
2 30代	43	10.4%
3 40代	77	18.6%
4 50代	65	15.7%
5 60代	127	30.6%
6 70代以上	67	16.1%
99 不明	0	0.0%
合計	415	100.0%

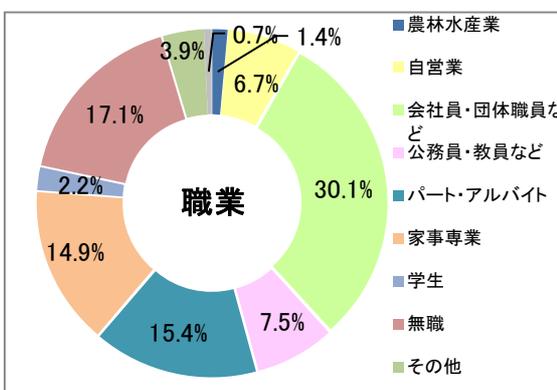


■『年齢層』は、「60代」が30.6%と一番多く、次いで「40代」が18.6%、「70代以上」が16.1%の順となっている。

(F3) 職業

(1つに○)

	票数	割合
1 農林水産業	6	1.4%
2 自営業	28	6.7%
3 会社員・団体職員など	125	30.1%
4 公務員・教員など	31	7.5%
5 パート・アルバイト	64	15.4%
6 家事専業	62	14.9%
7 学生	9	2.2%
8 無職	71	17.1%
9 その他	16	3.9%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%

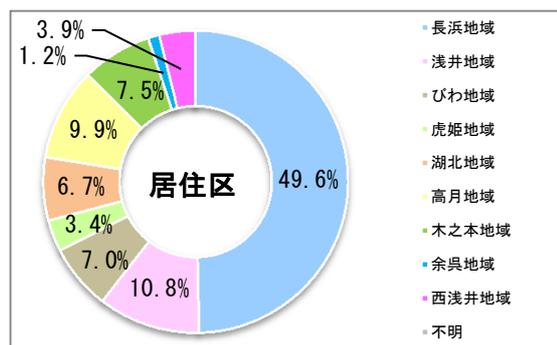


■『職業』は、「会社員・団体職員など」が30.1%と一番多く、次いで「無職」が17.1%、「パート・アルバイト」が15.4%の順となっている。

(F4) 居住地域

(1つに〇)

	票数	割合
1 長浜地域	206	49.6%
2 浅井地域	45	10.8%
3 びわ地域	29	7.0%
4 虎姫地域	14	3.4%
5 湖北地域	28	6.7%
6 高月地域	41	9.9%
7 木之本地域	31	7.5%
8 余呉地域	5	1.2%
9 西浅井地域	16	3.9%
99 不明	0	0.0%
合計	415	100.0%

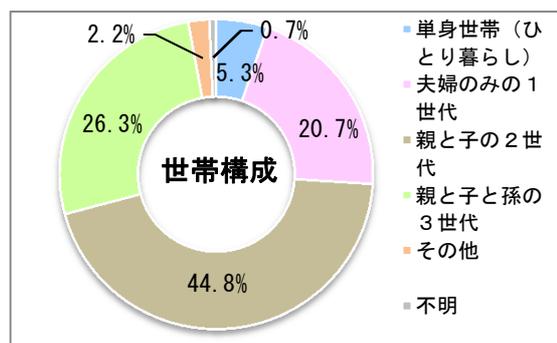


■『居住区』は、「長浜地域」が49.6%と一番多く、次いで「浅井地域」が10.8%、「高月地域」が9.9%の順となっている。

(F5) 世帯構成

(1つに〇)

	票数	割合
1 単身世帯 (ひとり暮らし)	22	5.3%
2 夫婦のみの1世代	86	20.7%
3 親と子の2世代	186	44.8%
4 親と子と孫の3世代	109	26.3%
5 その他	9	2.2%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



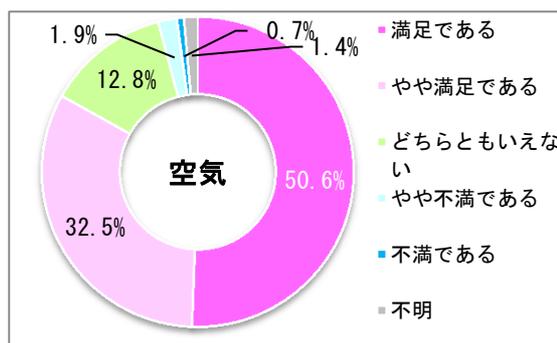
■『世帯構成』は、「親と子の2世代」が一番多く44.8%、次いで「親と子と孫の3世代」が26.3%、「夫婦のみの1世代」が20.7%の順となっている。

Ⅱ：身近な地域の環境や環境問題全般について

問1 あなたが住んでいる環境について 《満足度》 (それぞれ1つに○)

①空気がきれいである

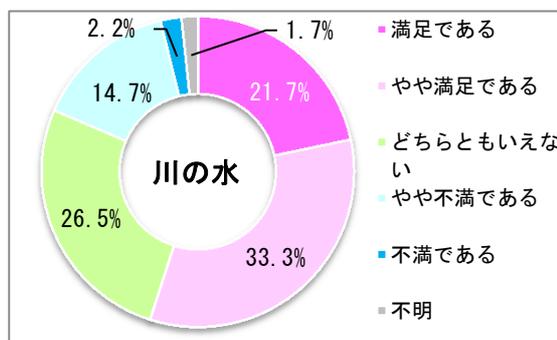
	票数	割合
1 満足である	210	50.6%
2 やや満足である	135	32.5%
3 どちらともいえない	53	12.8%
4 やや不満である	8	1.9%
5 不満である	3	0.7%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■『空気がきれいである』については、「満足である」が50.6%と一番多く、次いで「やや満足である」が32.5%、「どちらともいえない」が12.8%の順になっている。

②川の水がきれいである

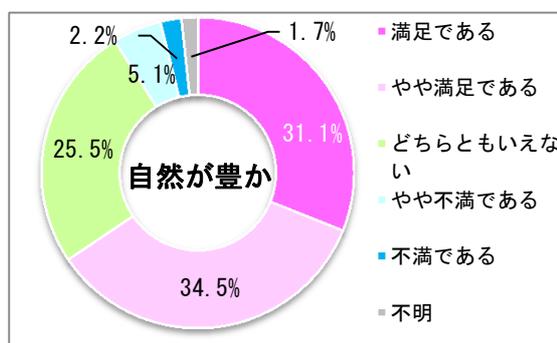
	票数	割合
1 満足である	90	21.7%
2 やや満足である	138	33.3%
3 どちらともいえない	110	26.5%
4 やや不満である	61	14.7%
5 不満である	9	2.2%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『川の水がきれいである』については、「やや満足である」が33.3%と一番多く、次いで「どちらともいえない」が26.5%、「満足である」が21.7%の順になっている。

③森や川などの自然が豊かである

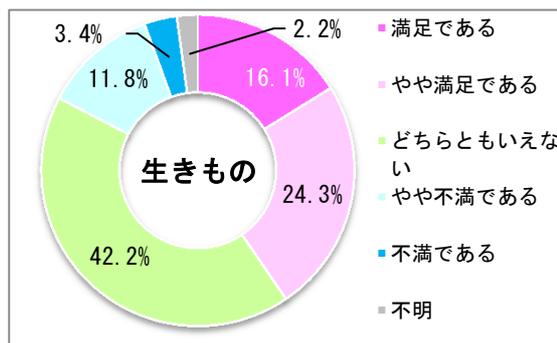
	票数	割合
1 満足である	129	31.1%
2 やや満足である	143	34.5%
3 どちらともいえない	106	25.5%
4 やや不満である	21	5.1%
5 不満である	9	2.2%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『森や川などの自然が豊かである』については、「やや満足である」が34.5%と一番多く、次いで「満足である」が31.1%、「どちらともいえない」が25.5%の順になっている。

④野生の動物や昆虫など、多くの種類の生きもの
がいる

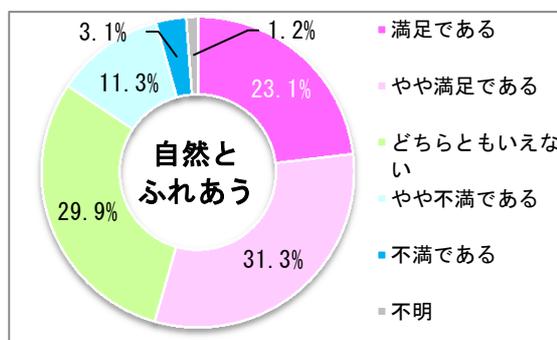
	票数	割合
1 満足である	67	16.1%
2 やや満足である	101	24.3%
3 どちらともいえない	175	42.2%
4 やや不満である	49	11.8%
5 不満である	14	3.4%
99 不明	9	2.2%
合計	415	100.0%



■『野生の動物や昆虫など、多くの種類の生きものがある』については、「どちらともいえない」が42.2%と一番多く、次いで「やや満足である」が24.3%、「満足である」が16.1%の順になっている。

⑤自然とふれあう場所が多い

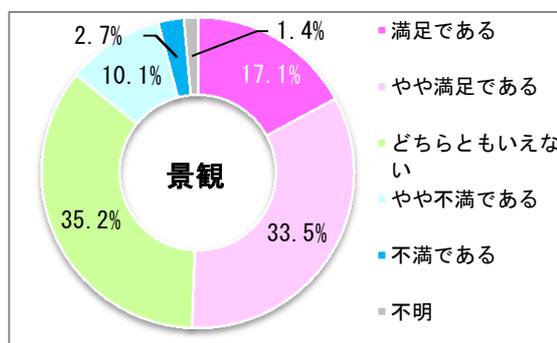
	票数	割合
1 満足である	96	23.1%
2 やや満足である	130	31.3%
3 どちらともいえない	124	29.9%
4 やや不満である	47	11.3%
5 不満である	13	3.1%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『自然とふれあう場所が多い』については、「やや満足である」が31.3%と一番多く、次いで「どちらともいえない」が29.9%、「満足である」が23.1%の順になっている。

⑥自然や街並みの景観が美しい

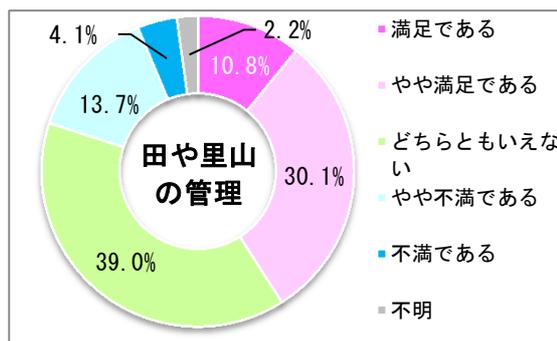
	票数	割合
1 満足である	71	17.1%
2 やや満足である	139	33.5%
3 どちらともいえない	146	35.2%
4 やや不満である	42	10.1%
5 不満である	11	2.7%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■『自然や街並みの景観が美しい』については、「どちらともいえない」が35.2%と一番多く、次いで「やや満足である」が33.5%、「満足である」が17.1%の順になっている。

⑦ 田んぼや里山が十分に管理されている

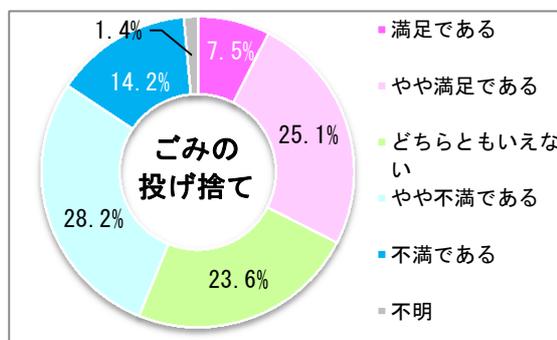
	票数	割合
1 満足である	45	10.8%
2 やや満足である	125	30.1%
3 どちらともいえない	162	39.0%
4 やや不満である	57	13.7%
5 不満である	17	4.1%
99 不明	9	2.2%
合計	415	100.0%



■ 『田んぼや里山が十分に管理されている』については、「どちらともいえない」が39.0%と一番多く、次いで「やや満足である」が30.1%、「やや不満である」が13.7%の順になっている。

⑧ 道路などにごみも投げ捨てられていない

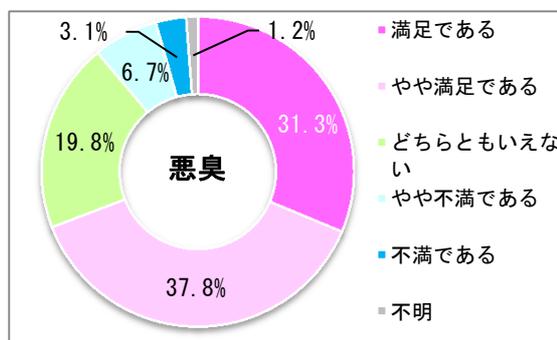
	票数	割合
1 満足である	31	7.5%
2 やや満足である	104	25.1%
3 どちらともいえない	98	23.6%
4 やや不満である	117	28.2%
5 不満である	59	14.2%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■ 『道路などにごみも投げ捨てられていない』については、「やや不満である」が28.2%と一番多く、次いで「やや満足である」が25.1%、「どちらともいえない」が23.6%の順になっている。

⑨ 気になる臭い（悪臭）がしない

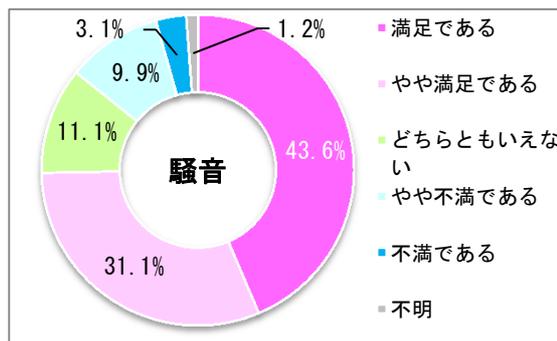
	票数	割合
1 満足である	130	31.3%
2 やや満足である	157	37.8%
3 どちらともいえない	82	19.8%
4 やや不満である	28	6.7%
5 不満である	13	3.1%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■ 『気になる臭い（悪臭）がしない』については、「やや満足である」が37.8%と一番多く、次いで「満足である」が31.3%、「どちらともいえない」が19.8%の順になっている。

⑩ 静かである（工場などの騒音が気にならない）

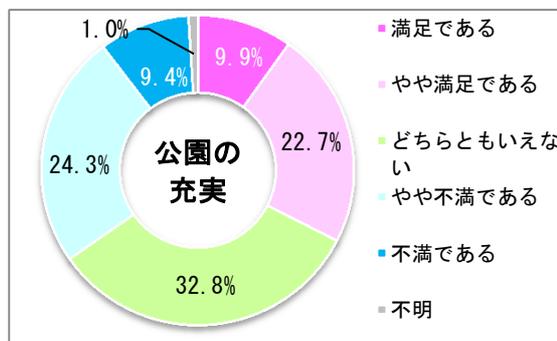
	票数	割合
1 満足である	181	43.6%
2 やや満足である	129	31.1%
3 どちらともいえない	46	11.1%
4 やや不満である	41	9.9%
5 不満である	13	3.1%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『静かである（工場などの騒音が気にならない）』については、「満足である」が43.6%と一番多く、次いで「やや満足である」が31.1%、「どちらともいえない」が11.1%の順になっている。

⑪ 公共の広場・公園などが充実している

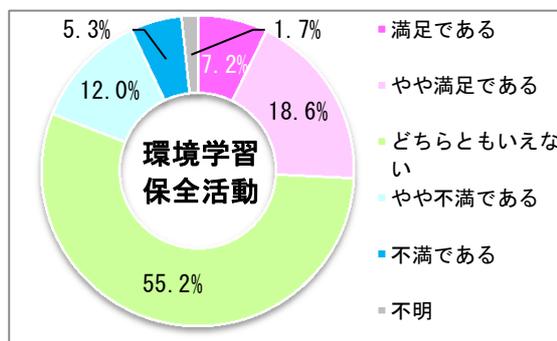
	票数	割合
1 満足である	41	9.9%
2 やや満足である	94	22.7%
3 どちらともいえない	136	32.8%
4 やや不満である	101	24.3%
5 不満である	39	9.4%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■『公共の広場・公園などが充実している』については、「どちらともいえない」が32.8%と一番多く、次いで「やや不満である」が24.3%、「やや満足である」が22.7%の順になっている。

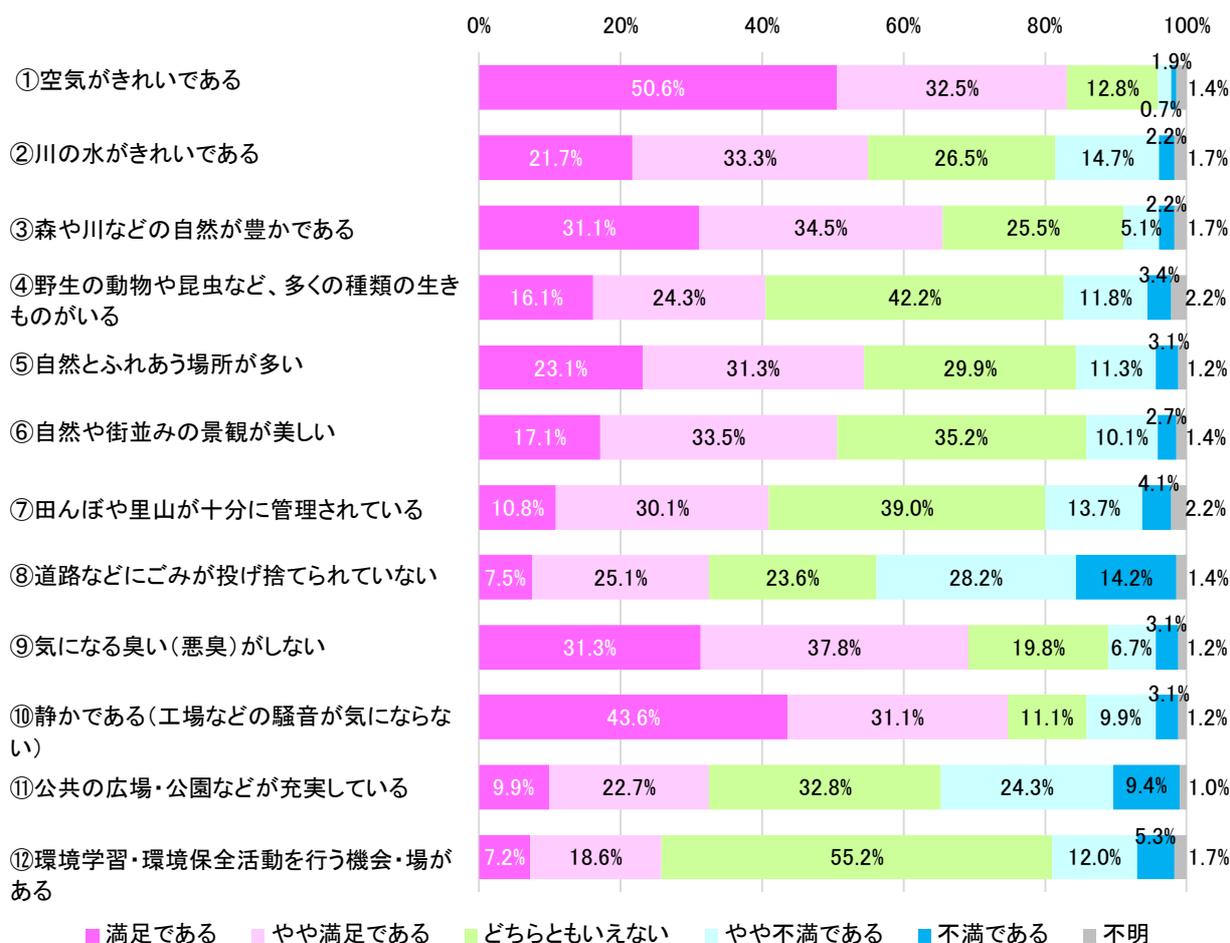
⑫ 環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある

	票数	割合
1 満足である	30	7.2%
2 やや満足である	77	18.6%
3 どちらともいえない	229	55.2%
4 やや不満である	50	12.0%
5 不満である	22	5.3%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある』については、「どちらともいえない」が55.2%と一番多く、次いで「やや満足である」が18.6%、「やや不満である」が12.0%の順になっている。

あなたが住んでいる環境について《満足度》

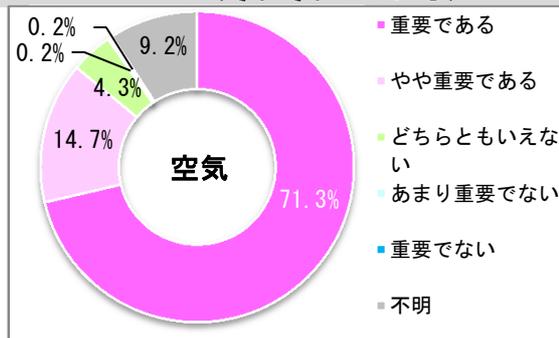


■『あなたが住んでいる環境について』の満足度の「満足である」は、「空気がきれいである」が50.6%と一番多く、次いで「静かである(工場などの騒音が気にならない)」が43.6%、「気になる臭い(悪臭)がしない」が31.3%の順で多くなっている。逆に「不満である」は、「道路などにごみが投げ捨てられていない」が14.2%と一番多く、次いで「公共の広場・公園などが充実している」が9.4%、「環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある」が5.3%の順で多くなっている。

問1 あなたが住んでいる環境について 《重要度》

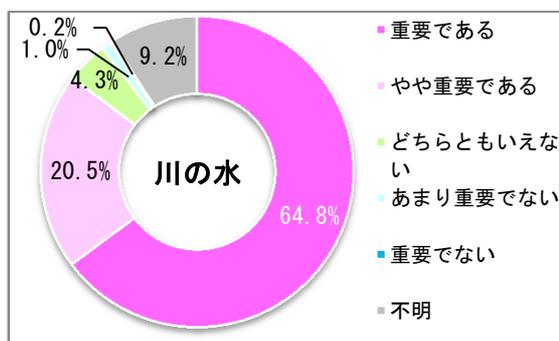
(それぞれ1つに○)

①空気がきれいである		
	票数	割合
1 重要である	296	71.3%
2 やや重要である	61	14.7%
3 どちらともいえない	18	4.3%
4 あまり重要でない	1	0.2%
5 重要でない	1	0.2%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



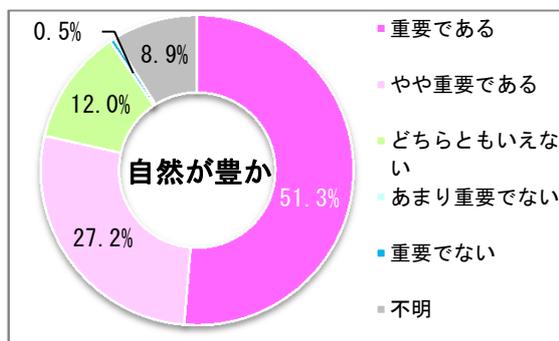
■『空気がきれいである』については、「重要である」が71.3%と一番多く、次いで「やや重要である」が14.7%、「どちらともいえない」が4.3%の順になっている。

②川の水がきれいである		
	票数	割合
1 重要である	269	64.8%
2 やや重要である	85	20.5%
3 どちらともいえない	18	4.3%
4 あまり重要でない	4	1.0%
5 重要でない	1	0.2%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



■『川の水がきれいである』については、「重要である」が64.8%と一番多く、次いで「やや重要である」が20.5%、「どちらともいえない」が4.3%の順になっている。

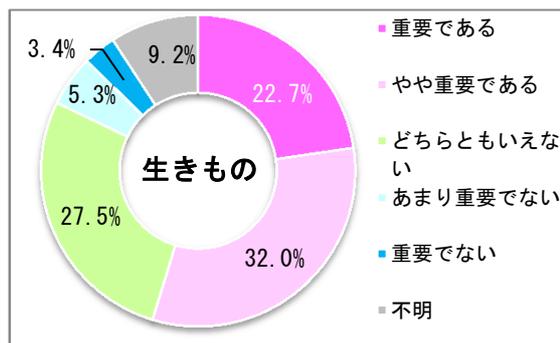
③森や川などの自然が豊かである		
	票数	割合
1 重要である	213	51.3%
2 やや重要である	113	27.2%
3 どちらともいえない	50	12.0%
4 あまり重要でない	0	0.0%
5 重要でない	2	0.5%
99 不明	37	8.9%
合計	415	100.0%



■『森や川などの自然が豊かである』については、「重要である」が51.3%と一番多く、次いで「やや重要である」が27.2%、「どちらともいえない」が12.0%の順になっている。

④野生の動物や昆虫など、多くの種類の生きものがいる

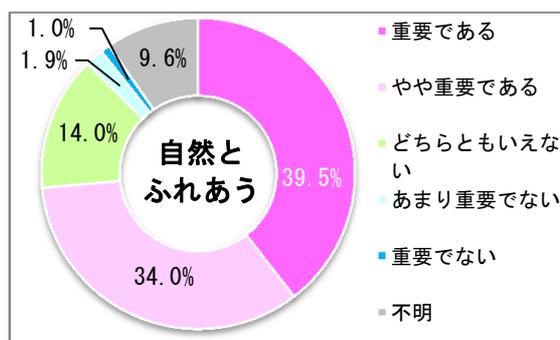
	票数	割合
1 重要である	94	22.7%
2 やや重要である	133	32.0%
3 どちらともいえない	114	27.5%
4 あまり重要でない	22	5.3%
5 重要でない	14	3.4%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



■『野生の動物や昆虫など、多くの種類の生きものがいる』については、「やや重要である」が32.0%と一番多く、次いで「どちらともいえない」が27.5%、「重要である」が22.7%の順になっている。

⑤自然とふれあう場所が多い

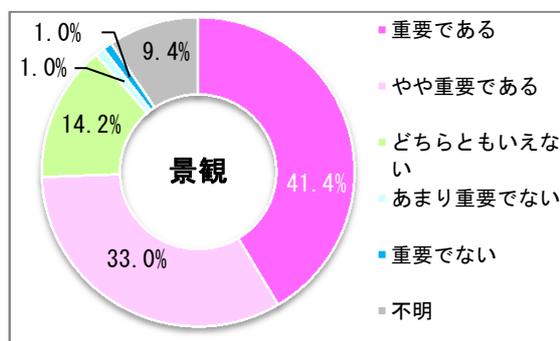
	票数	割合
1 重要である	164	39.5%
2 やや重要である	141	34.0%
3 どちらともいえない	58	14.0%
4 あまり重要でない	8	1.9%
5 重要でない	4	1.0%
99 不明	40	9.6%
合計	415	100.0%



■『自然とふれあう場所が多い』については、「重要である」が39.5%と一番多く、次いで「やや重要である」が34.0%、「どちらともいえない」が14.0%の順になっている。

⑥自然や街並みの景観が美しい

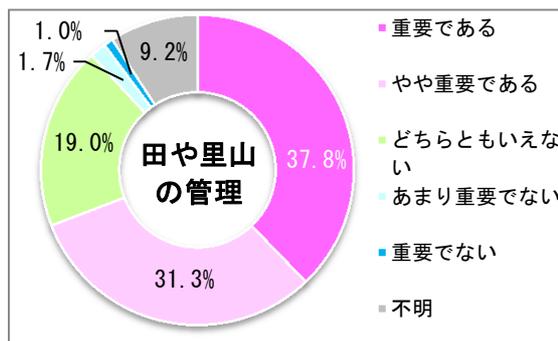
	票数	割合
1 重要である	172	41.4%
2 やや重要である	137	33.0%
3 どちらともいえない	59	14.2%
4 あまり重要でない	4	1.0%
5 重要でない	4	1.0%
99 不明	39	9.4%
合計	415	100.0%



■『自然や街並みの景観が美しい』については、「重要である」が41.4%と一番多く、次いで「やや重要である」が33.0%、「どちらともいえない」が14.2%の順になっている。

⑦ 田んぼや里山が十分に管理されている

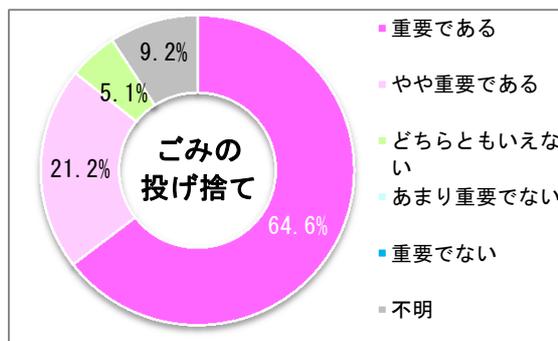
	票数	割合
1 重要である	157	37.8%
2 やや重要である	130	31.3%
3 どちらともいえない	79	19.0%
4 あまり重要でない	7	1.7%
5 重要でない	4	1.0%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



■ 『田んぼや里山が十分に管理されている』については、「重要である」が37.8%と一番多く、次いで「やや重要である」が31.3%、「どちらともいえない」が19.0%の順になっている。

⑧ 道路などにごみが投げ捨てられていない

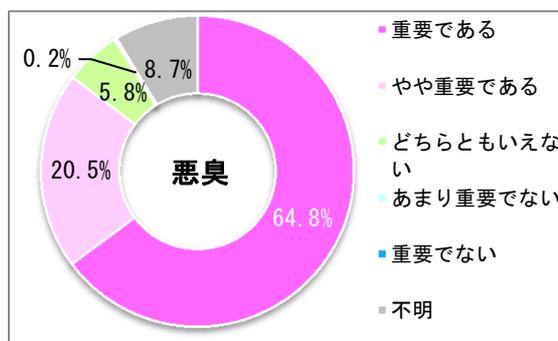
	票数	割合
1 重要である	268	64.6%
2 やや重要である	88	21.2%
3 どちらともいえない	21	5.1%
4 あまり重要でない	0	0.0%
5 重要でない	0	0.0%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



■ 『道路などにごみが投げ捨てられていない』については、「重要である」が64.6%と一番多く、次いで「やや重要である」が21.2%、「どちらともいえない」が5.1%の順になっている。

⑨ 気になる臭い（悪臭）がしない

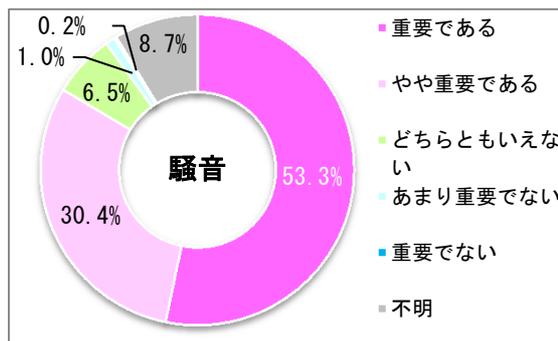
	票数	割合
1 重要である	269	64.8%
2 やや重要である	85	20.5%
3 どちらともいえない	24	5.8%
4 あまり重要でない	1	0.2%
5 重要でない	0	0.0%
99 不明	36	8.7%
合計	415	100.0%



■ 『気になる臭い（悪臭）がしない』については、「重要である」が64.8%と一番多く、次いで「やや重要である」が20.5%、「どちらともいえない」が5.8%の順になっている。

⑩ 静かである（工場などの騒音が気にならない）

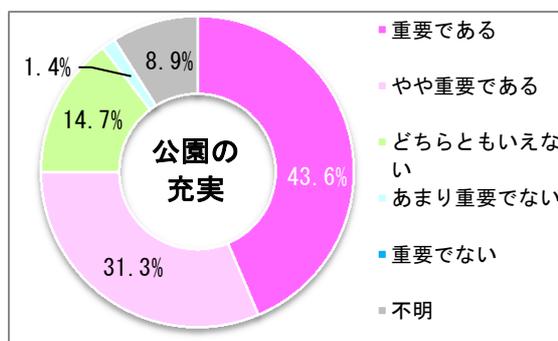
	票数	割合
1 重要である	221	53.3%
2 やや重要である	126	30.4%
3 どちらともいえない	27	6.5%
4 あまり重要でない	4	1.0%
5 重要でない	1	0.2%
99 不明	36	8.7%
合計	415	100.0%



■『静かである（工場などの騒音が気にならない）』については、「重要である」が53.3%と一番多く、次いで「やや重要である」が30.4%、「どちらともいえない」が6.5%の順になっている。

⑪ 公共の広場・公園などが充実している

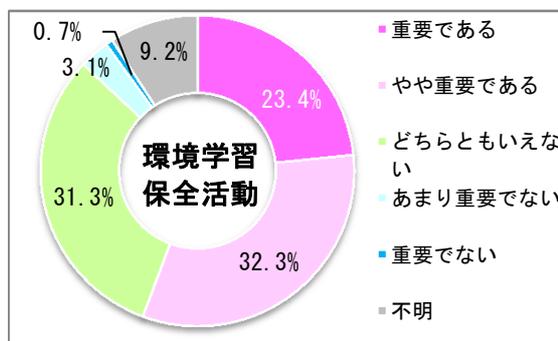
	票数	割合
1 重要である	181	43.6%
2 やや重要である	130	31.3%
3 どちらともいえない	61	14.7%
4 あまり重要でない	6	1.4%
5 重要でない	0	0.0%
99 不明	37	8.9%
合計	415	100.0%



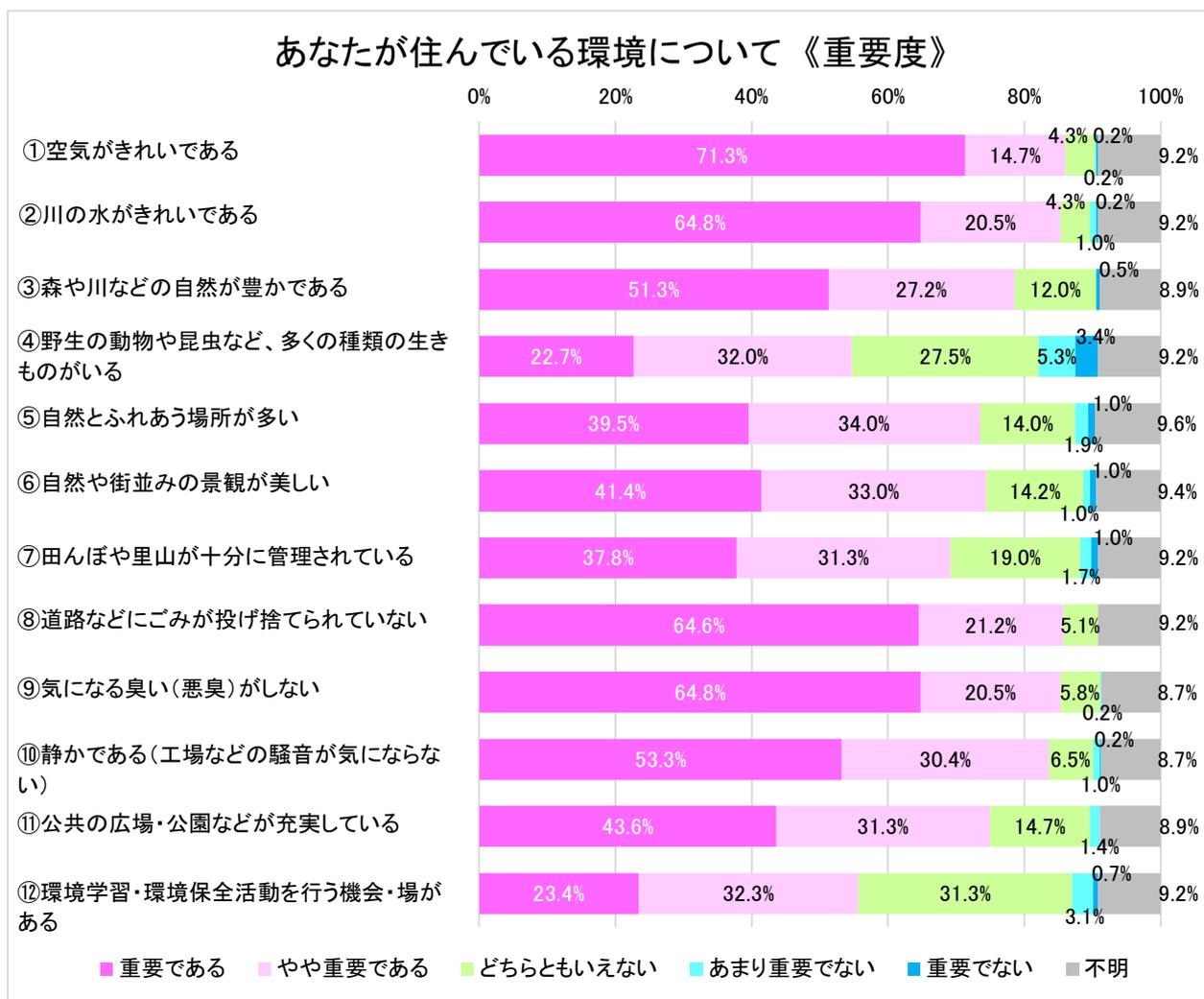
■『公共の広場・公園などが充実している』については、「重要である」が43.6%と一番多く、次いで「やや重要である」が31.3%、「どちらともいえない」が14.7%の順になっている。

⑫ 環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある

	票数	割合
1 重要である	97	23.4%
2 やや重要である	134	32.3%
3 どちらともいえない	130	31.3%
4 あまり重要でない	13	3.1%
5 重要でない	3	0.7%
99 不明	38	9.2%
合計	415	100.0%



■『環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある』については、「やや重要である」が32.3%と一番多く、次いで「どちらともいえない」が31.3%、「重要である」が23.4%の順になっている。



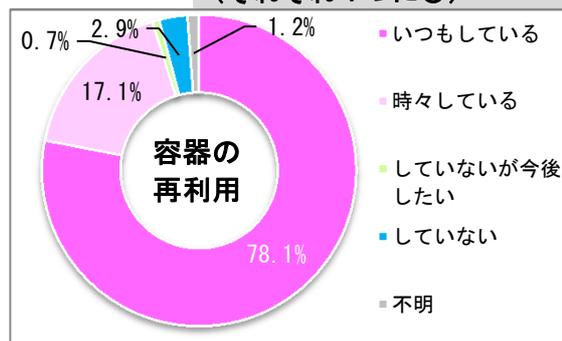
■『あなたが住んでいる環境について』の「重要度」の「重要である」は、「空気がきれいである」が71.3%と一番多く、次いで「川の水がきれいである」と「気になる臭い(悪臭)がしない」が64.8%、「道路などにごみが投げ捨てられていない」が64.6%の順で多くなっている。逆に「重要でない」は、「野生の動物や昆虫など、多くの種類の生きものがいる」が一番多く、3.4%と一番多く、次いで「自然とふれあう場所が多い」と「自然や街並みの景観が美しい」と「田んぼや里山が十分に管理されている」が1.0%、「環境学習・環境保全活動を行う機会・場がある」が0.7%の順に多くなっている。

問2 日常生活の中で、環境に負担をかけないようにどのようなことを行っていますか。

(それぞれ1つに○)

①詰め替え用の洗剤などを購入し、容器を再利用している

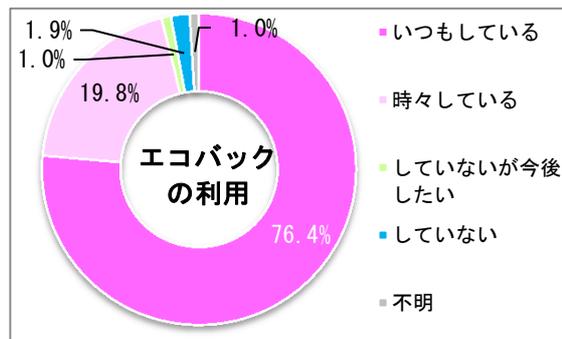
	票数	割合
1 いつもしている	324	78.1%
2 時々している	71	17.1%
3 していないが今後したい	3	0.7%
4 していない	12	2.9%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『詰め替え用の洗剤などを購入し、容器を再利用している』については、「いつもしている」が78.1%と一番多く、次いで「時々している」が17.1%、「していない」が2.9%の順になっている。

②買い物の際に買い物袋を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている

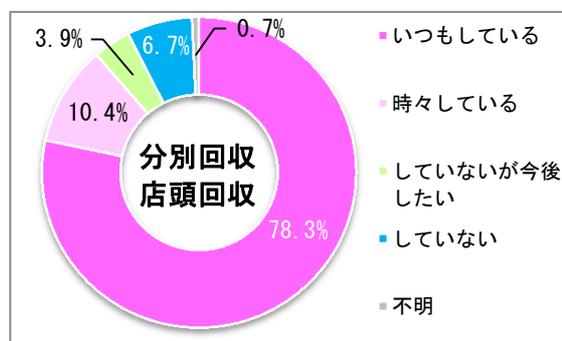
	票数	割合
1 いつもしている	317	76.4%
2 時々している	82	19.8%
3 していないが今後したい	4	1.0%
4 していない	8	1.9%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■『買い物の際に買い物袋を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている』については、「いつもしている」が76.4%と一番多く、次いで「時々している」が19.8%、「していない」が1.9%の順になっている。

③牛乳パックやトレイなどは分別回収や店頭回収に出している

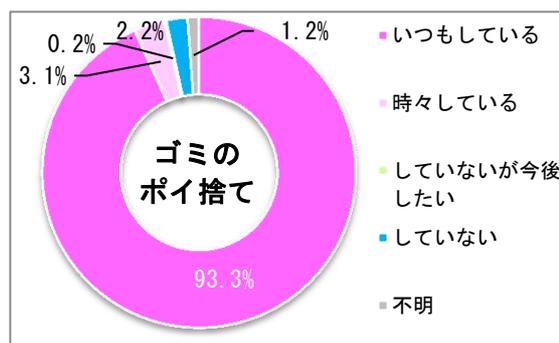
	票数	割合
1 いつもしている	325	78.3%
2 時々している	43	10.4%
3 していないが今後したい	16	3.9%
4 していない	28	6.7%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



■『牛乳パックやトレイなどは分別回収や店頭回収に出している』については、「いつもしている」が78.3%と一番多く、次いで「時々している」が10.4%、「していない」が6.7%の順になっている。

④空き缶やタバコなど、ごみのポイ捨てをしないようにしている

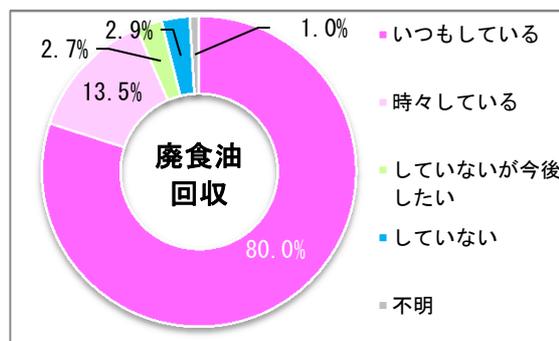
	票数	割合
1 いつもしている	387	93.3%
2 時々している	13	3.1%
3 していないが今後したい	1	0.2%
4 していない	9	2.2%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『空き缶やタバコなど、ごみのポイ捨てをしないようにしている』については、「いつもしている」が93.3%と一番多く、次いで「時々している」が3.1%、「していない」が2.2%の順になっている。

⑤油は流しなどに流さず、不要な紙や布などに吸い取らせるなどして捨てたり、廃食油の回収に出している

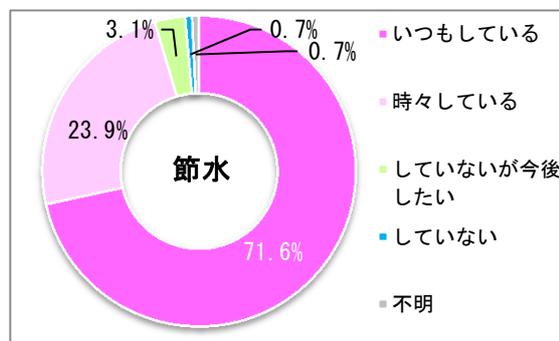
	票数	割合
1 いつもしている	332	80.0%
2 時々している	56	13.5%
3 していないが今後したい	11	2.7%
4 していない	12	2.9%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■『油は流しなどに流さず、不要な紙や布などに吸い取らせるなどして捨てたり、廃食油の回収に出している』については、「いつもしている」が80.0%と一番多く、次いで「時々している」が13.5%、「していない」が2.9%の順になっている。

⑥水道を流したままにせず、節水に気をつけている

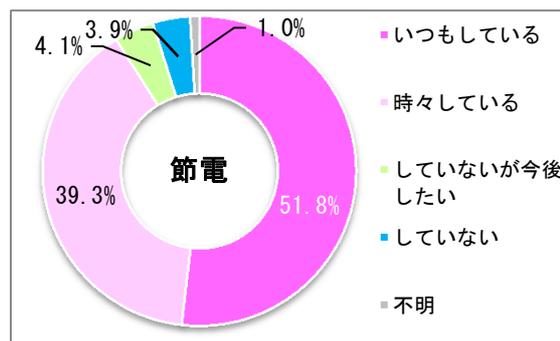
	票数	割合
1 いつもしている	297	71.6%
2 時々している	99	23.9%
3 していないが今後したい	13	3.1%
4 していない	3	0.7%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



■『水道を流したままにせず、節水に気をつけている』については、「いつもしている」が71.6%と一番多く、次いで「時々している」が23.9%、「していないが今後したい」が3.1%の順になっている。

⑦不要な電気を消す、コンセントを抜くなど節電に心がけている

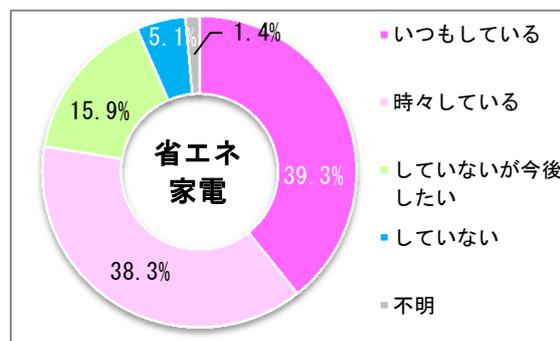
	票数	割合
1 いつもしている	215	51.8%
2 時々している	163	39.3%
3 していないが今後したい	17	4.1%
4 していない	16	3.9%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■ 『不要な電気を消す、コンセントを抜くなど節電に心がけている』については、「いつもしている」が51.8%と一番多く、次いで「時々している」が39.3%、「していないが今後したい」が4.1%の順になっている。

⑧省エネ性能の高い電化製品を選んで買う（又は買う予定をしている）

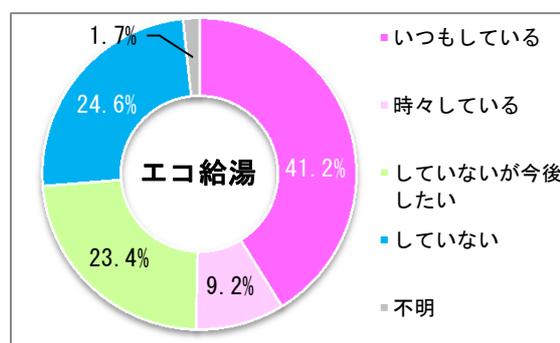
	票数	割合
1 いつもしている	163	39.3%
2 時々している	159	38.3%
3 していないが今後したい	66	15.9%
4 していない	21	5.1%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■ 『省エネ性能の高い電化製品を選んで買う（又は買う予定をしている）』については、「いつもしている」が39.3%と一番多く、次いで「時々している」が38.3%、「していないが今後したい」が15.9%の順になっている。

⑨エネルギーを効率的に利用するシステム（エコキュートやエコウィル、エネファームなど）を利用している

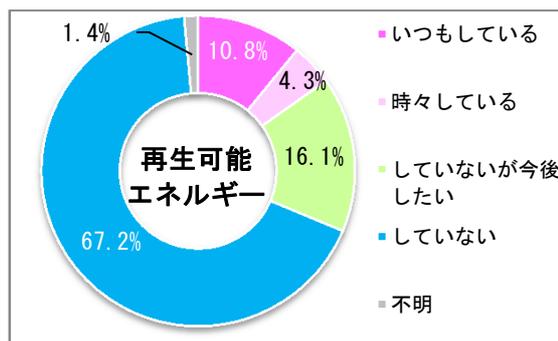
	票数	割合
1 いつもしている	171	41.2%
2 時々している	38	9.2%
3 していないが今後したい	97	23.4%
4 していない	102	24.6%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■ 『エネルギーを効率的に利用するシステム（エコキュートやエコウィル、エネファームなど）を利用している』については、「いつもしている」が41.2%と一番多く、次いで「していない」が24.6%、「していないが今後したい」が23.4%の順になっている。

⑩再生可能エネルギー機器（太陽光発電やペレット・薪ストーブなど）を設置している

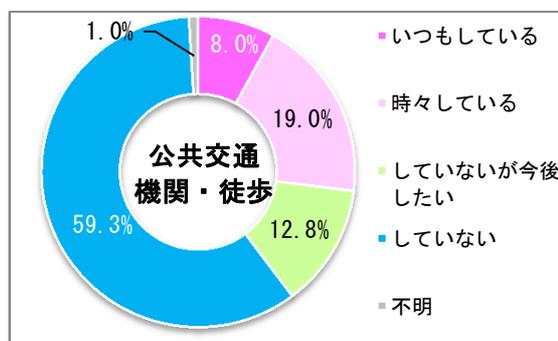
	票数	割合
1 いつもしている	45	10.8%
2 時々している	18	4.3%
3 していないが今後したい	67	16.1%
4 していない	279	67.2%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■『再生可能エネルギー機器（太陽光発電やペレット・薪ストーブなど）を設置している』については、「していない」が67.2%と一番多く、次いで「していないが今後したい」が16.1%、「いつもしている」が10.8%の順になっている。

⑪外出の際には、なるべく自家用車を使わず、公共交通機関や徒歩、自転車を利用している

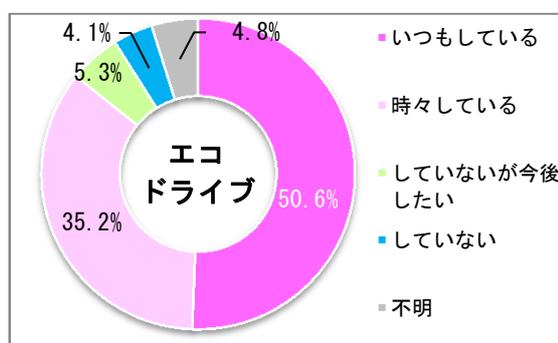
	票数	割合
1 いつもしている	33	8.0%
2 時々している	79	19.0%
3 していないが今後したい	53	12.8%
4 していない	246	59.3%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■『外出の際には、なるべく自家用車を使わず、公共交通機関や徒歩、自転車を利用している』については、「していない」が59.3%と一番多く、次いで「時々している」が19.0%、「していないが今後したい」が12.8%の順になっている。

⑫車を運転する時には、急発進・急加速をせず、エコドライブに心がけている

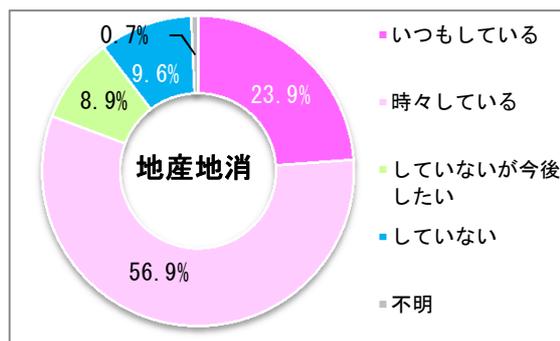
	票数	割合
1 いつもしている	210	50.6%
2 時々している	146	35.2%
3 していないが今後したい	22	5.3%
4 していない	17	4.1%
99 不明	20	4.8%
合計	415	100.0%



■『車を運転する時には、急発進・急加速をせず、エコドライブに心がけている』については、「いつもしている」が50.6%と一番多く、次いで「時々している」が35.2%、「していないが今後したい」が5.3%の順になっている。

⑬地場で採れた食材や製品を買うよう心がけている

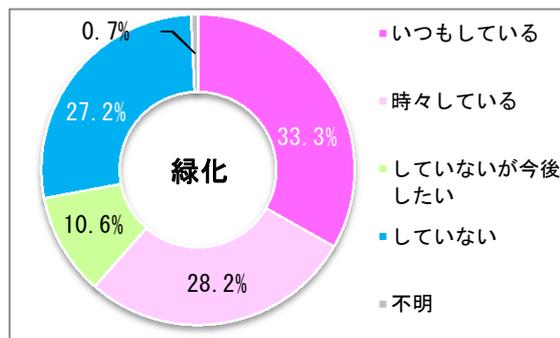
	票数	割合
1 いつもしている	99	23.9%
2 時々している	236	56.9%
3 していないが今後したい	37	8.9%
4 していない	40	9.6%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



■『地場で採れた食材や製品を買うよう心がけている』については、「時々している」が56.9%と一番多く、次いで「いつもしている」が23.9%、「していない」が9.6%の順になっている。

⑭庭やベランダの緑化（ガーデニング、グリーンカーテンなど）を行っている

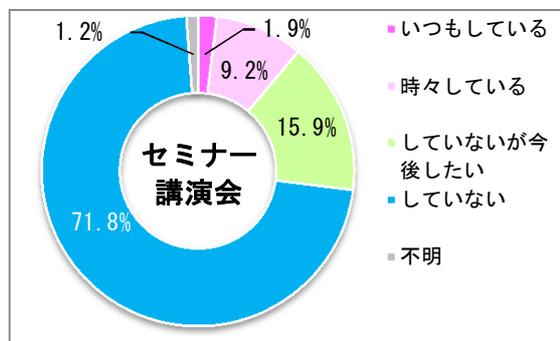
	票数	割合
1 いつもしている	138	33.3%
2 時々している	117	28.2%
3 していないが今後したい	44	10.6%
4 していない	113	27.2%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



■『庭やベランダの緑化（ガーデニング、グリーンカーテンなど）を行っている』については、「いつもしている」が33.3%と一番多く、次いで「時々している」が28.2%、「していない」が27.2%の順になっている。

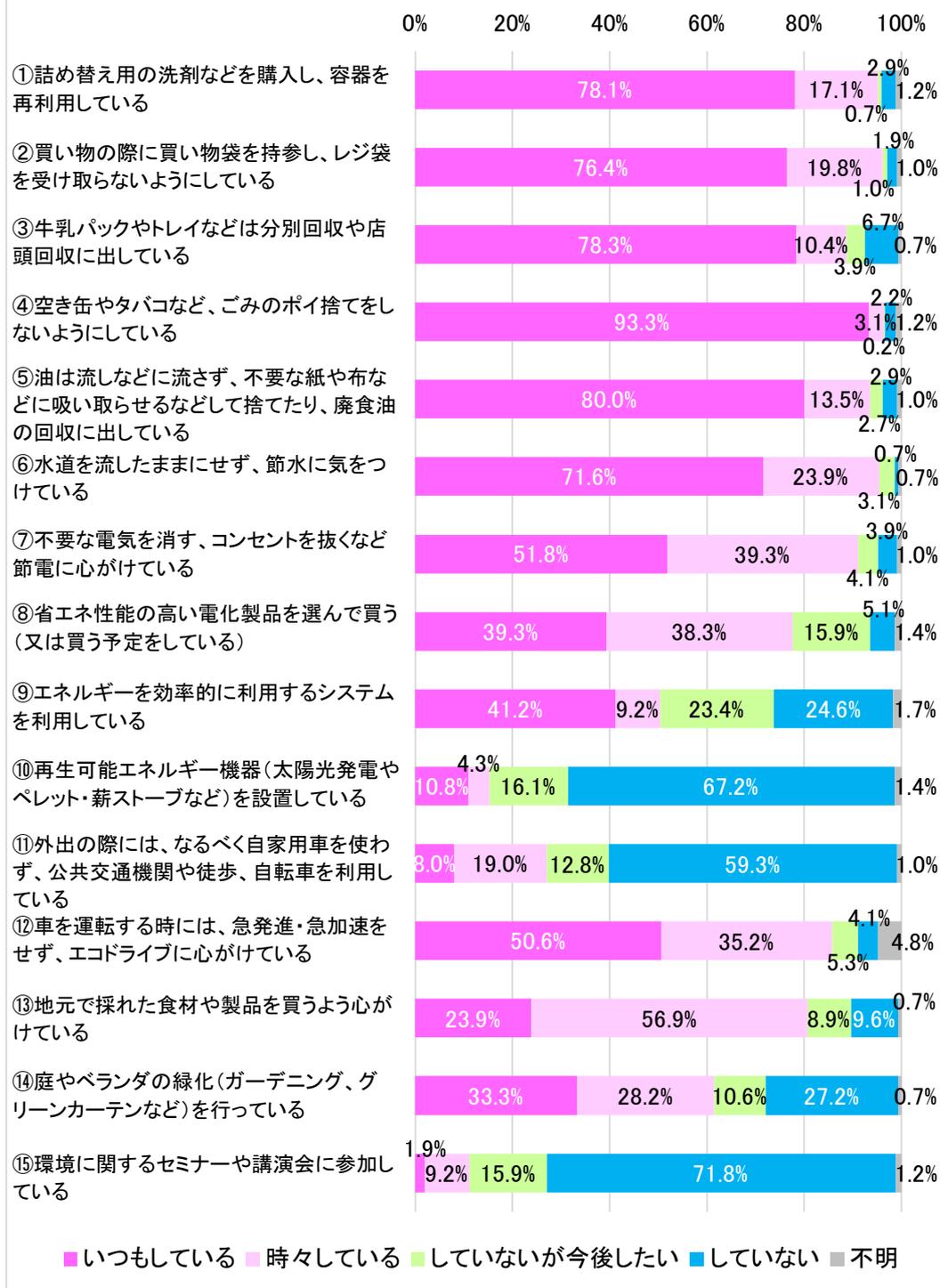
⑮環境に関するセミナーや講演会に参加している

	票数	割合
1 いつもしている	8	1.9%
2 時々している	38	9.2%
3 していないが今後したい	66	15.9%
4 していない	298	71.8%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『環境に関するセミナーや講演会に参加している』については、「していない」が71.8%と一番多く、次いで「していないが今後したい」が15.9%、「時々している」が9.2%の順になっている。

日常生活の中で環境に負担をかけない行動



■『日常生活の中で、環境に負担をかけない行動』の「いつもしている」は、「空き缶やタバコなど、ごみのポイ捨てをしないようにしている」が93.3%と一番多く、次いで「油は流しなどに流さず、不要な紙や布などに吸い取らせるなどして捨てたり、廃食油の回収に出している」が80.0%、「牛乳パックやトレイなどは分別回収や店頭回収に出している」が78.3%の順で多くなっている。逆に「していない」は、「環境に関するセミナーや講演会に参加している」が一番多く、71.8%と一番多く、次いで「再生可能エネルギー機器(太陽光発電やペレット・薪ストーブなど)を設置している」が67.2%、「外出の際には、なるべく自家用車を使わず、公共交通機関や徒歩、自転車を利用している」が59.3%の順に多くなっている。

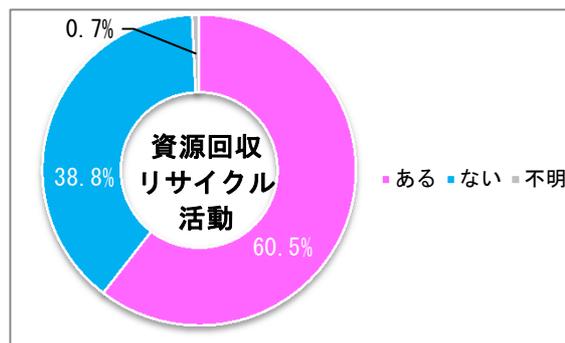
Ⅲ：環境に配慮した行動・活動の実践状況について

問3 長浜市の環境をより良くするために、以下のような活動に参加したことがありますか。
また、今後も参加したいと思いますか。
(それぞれ1つずつ○)

《参加経験》

①資源回収活動やリサイクル活動への参加

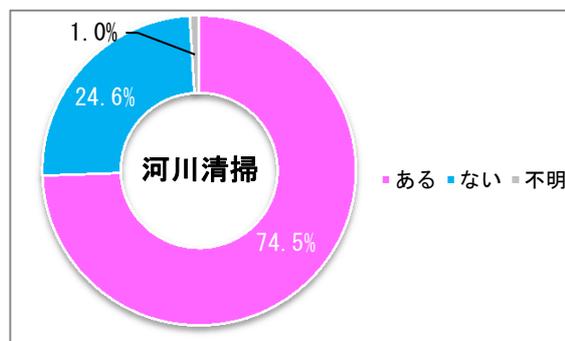
	票数	割合
1 ある	251	60.5%
2 ない	161	38.8%
99 不明	3	0.7%
合計	415	100.0%



■『資源回収活動やリサイクル活動への参加』については、「ある」が60.5%、「ない」が38.8%となっている。

②清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加

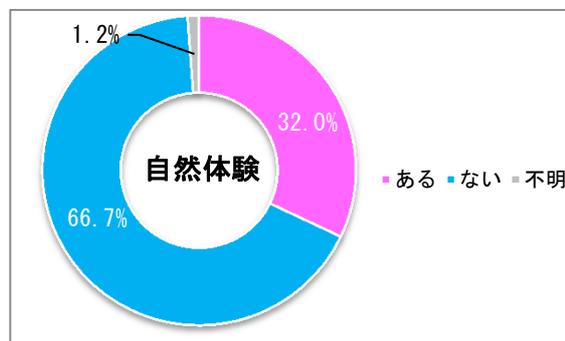
	票数	割合
1 ある	309	74.5%
2 ない	102	24.6%
99 不明	4	1.0%
合計	415	100.0%



■『清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加』については、「ある」が74.5%、「ない」が24.6%となっている。

③ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加

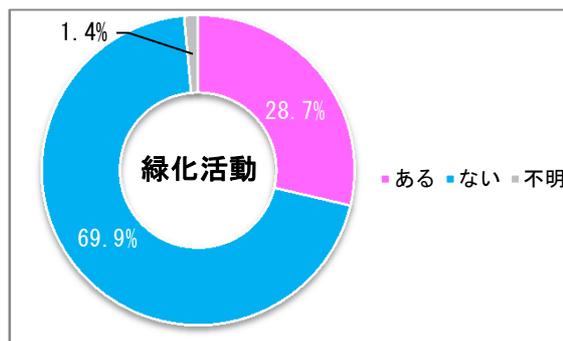
	票数	割合
1 ある	133	32.0%
2 ない	277	66.7%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加』については、「ある」が32.0%、「ない」が66.7%となっている。

④草花などを植える緑化活動への参加

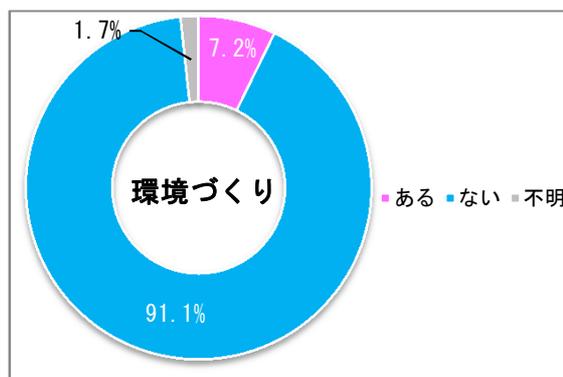
	票数	割合
1 ある	119	28.7%
2 ない	290	69.9%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■『草花などを植える緑化活動への参加』については、「ある」が28.7%、「ない」が69.9%となっている。

⑤貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加

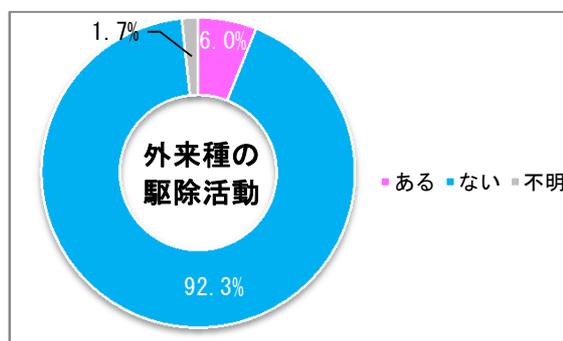
	票数	割合
1 ある	30	7.2%
2 ない	378	91.1%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加』については、「ある」が7.2%、「ない」が91.1%となっている。

⑥ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加

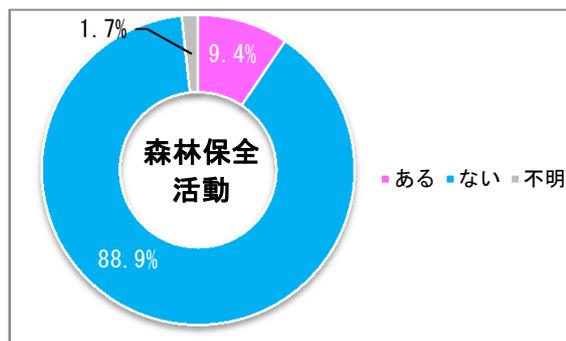
	票数	割合
1 ある	25	6.0%
2 ない	383	92.3%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加』については、「ある」が6.0%、「ない」が92.3%となっている。

⑦植樹や間伐など森林保全活動への参加

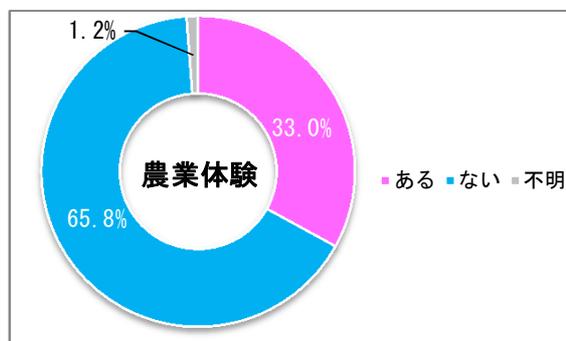
	票数	割合
1 ある	39	9.4%
2 ない	369	88.9%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『植樹や間伐など森林保全活動への参加』については、「ある」が9.4%、「ない」が88.9%となっている。

⑧田植えや稲刈りなど農業体験への参加

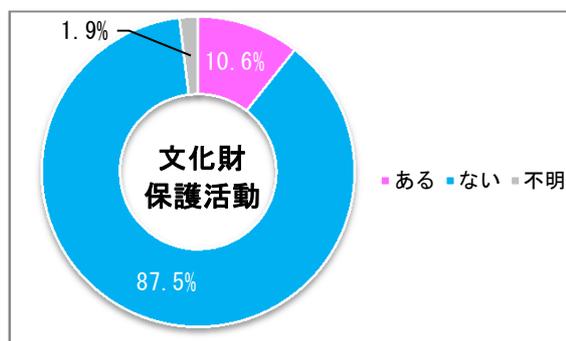
	票数	割合
1 ある	137	33.0%
2 ない	273	65.8%
99 不明	5	1.2%
合計	415	100.0%



■『田植えや稲刈りなど農業体験への参加』については、「ある」が33.0%、「ない」が65.8%となっている。

⑨文化財や歴史的遺産などの保護活動への参加

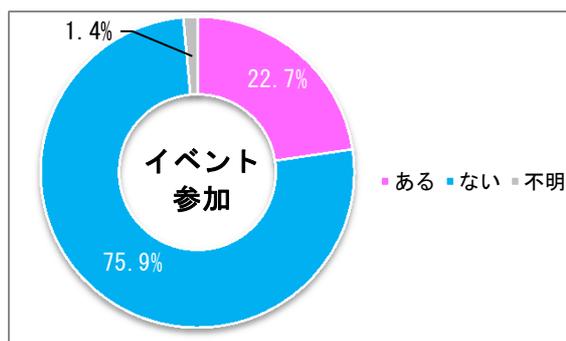
	票数	割合
1 ある	44	10.6%
2 ない	363	87.5%
99 不明	8	1.9%
合計	415	100.0%



■『文化財や歴史的遺産などの保護活動への参加』については、「ある」が10.6%、「ない」が87.5%となっている。

⑩環境に関するイベントなどへの参加

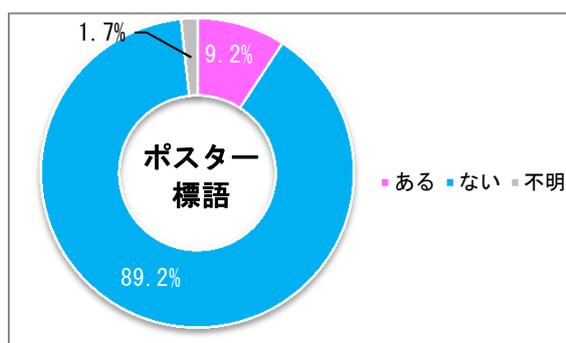
	票数	割合
1 ある	94	22.7%
2 ない	315	75.9%
99 不明	6	1.4%
合計	415	100.0%



■『環境に関するイベントなどへの参加』については、「ある」が22.7%、「ない」が75.9%となっている。

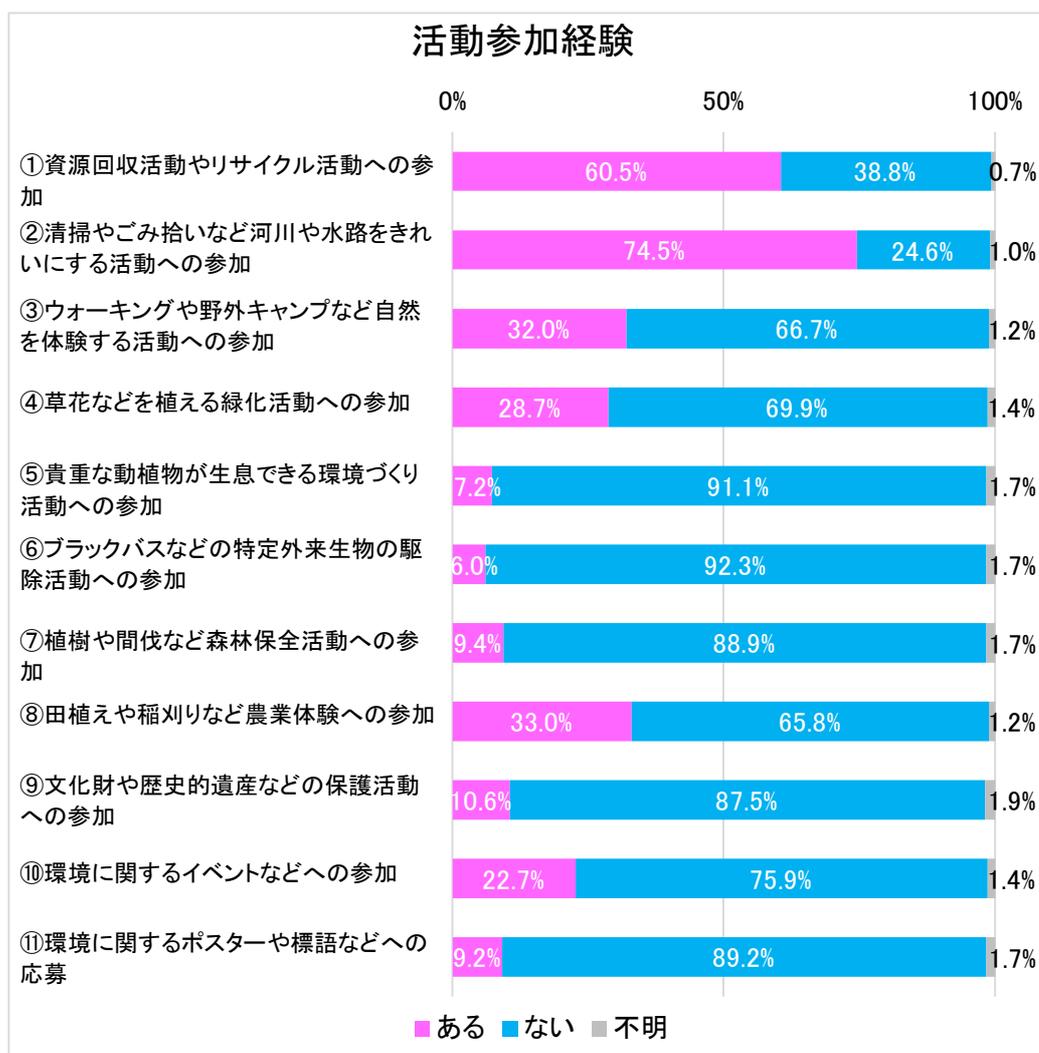
⑪環境に関するポスターや標語などへの応募

	票数	割合
1 ある	38	9.2%
2 ない	370	89.2%
99 不明	7	1.7%
合計	415	100.0%



■『環境に関するポスターや標語などへの応募』については、「ある」が9.2%、「ない」が89.2%となっている。

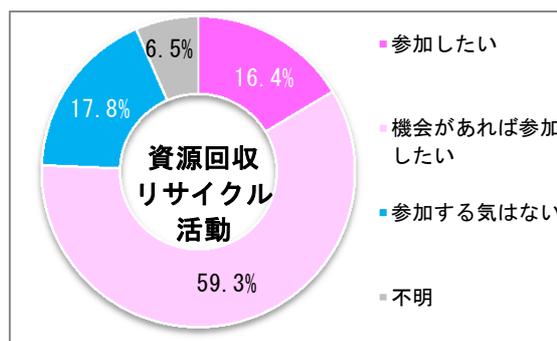
■『その他』については、参加経験が「ある」取り組みとして「生ゴミのたい肥化」や「生活している中での行動と心がけ」などが挙げられる。



■ 『長浜市の環境をより良くする活動に参加したことがありますか。』の「ある」は、「清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加」が74.5%と一番多く、次いで「資源回収活動やリサイクル活動への参加」が60.5%、「田植えや稲刈りなど農業体験への参加」が33.0%の順で多くなっている。逆に「ない」は、「ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加」が92.3%が一番多く、次いで「貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加」が91.1%、「環境に関するポスターや標語などへの応募」が89.2%の順で多くなっている。

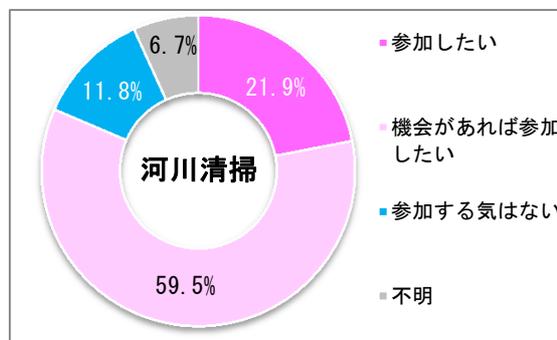
《今後の参加意向》

①資源回収活動やリサイクル活動への参加		
	票数	割合
1 参加したい	68	16.4%
2 機会があれば参加したい	246	59.3%
3 参加する気はない	74	17.8%
99 不明	27	6.5%
合計	415	100.0%



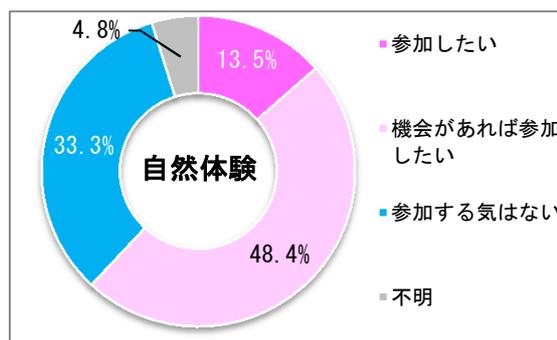
■『資源回収活動やリサイクル活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が59.3%と一番多く、次いで「参加する気はない」が17.8%、「参加したい」が16.4%となっている。

②清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加		
	票数	割合
1 参加したい	91	21.9%
2 機会があれば参加したい	247	59.5%
3 参加する気はない	49	11.8%
99 不明	28	6.7%
合計	415	100.0%



■『清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が59.5%と一番多く、次いで「参加したい」が21.9%、「参加する気はない」が11.8%となっている。

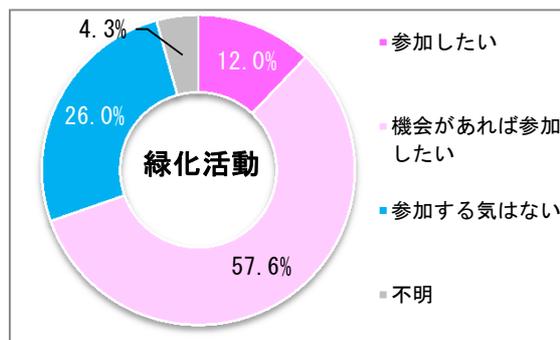
③ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加		
	票数	割合
1 参加したい	56	13.5%
2 機会があれば参加したい	201	48.4%
3 参加する気はない	138	33.3%
99 不明	20	4.8%
合計	415	100.0%



■『ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が48.4%と一番多く、次いで「参加する気はない」が33.3%、「参加したい」が13.5%となっている。

④草花などを植える緑化活動への参加

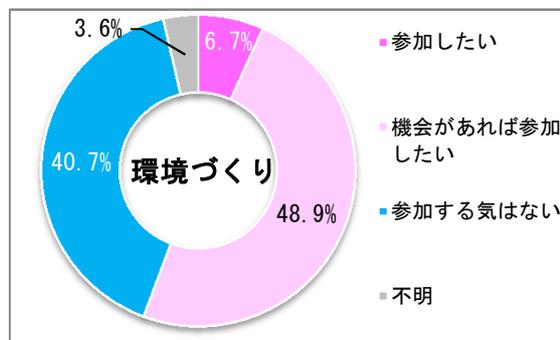
	票数	割合
1 参加したい	50	12.0%
2 機会があれば参加したい	239	57.6%
3 参加する気はない	108	26.0%
99 不明	18	4.3%
合計	415	100.0%



■ 『草花などを植える緑化活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が57.6%と一番多く、次いで「参加する気はない」が26.0%、「参加したい」が12.0%となっている。

⑤貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加

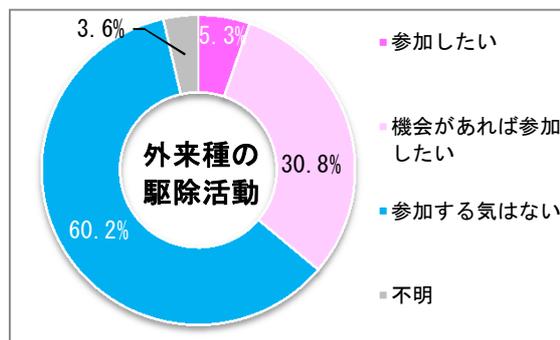
	票数	割合
1 参加したい	28	6.7%
2 機会があれば参加したい	203	48.9%
3 参加する気はない	169	40.7%
99 不明	15	3.6%
合計	415	100.0%



■ 『貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が48.9%と一番多く、次いで「参加する気はない」が40.7%、「参加したい」が6.7%となっている。

⑥ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加

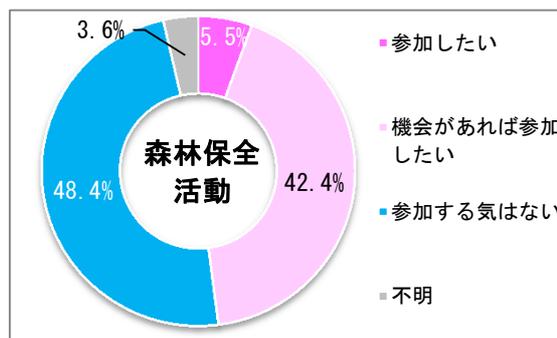
	票数	割合
1 参加したい	22	5.3%
2 機会があれば参加したい	128	30.8%
3 参加する気はない	250	60.2%
99 不明	15	3.6%
合計	415	100.0%



■ 『ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加』については、「参加する気はない」が60.2%と一番多く、次いで「機会があれば参加したい」が30.8%、「参加したい」が5.3%となっている。

⑦植樹や間伐など森林保全活動への参加

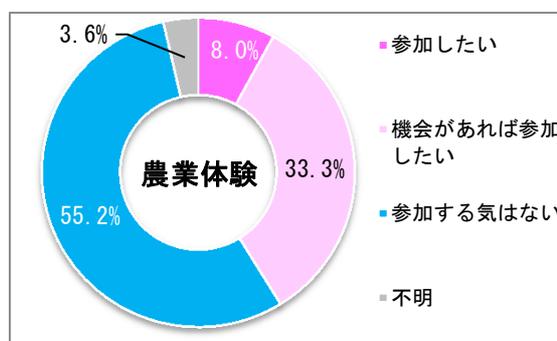
	票数	割合
1 参加したい	23	5.5%
2 機会があれば参加したい	176	42.4%
3 参加する気はない	201	48.4%
99 不明	15	3.6%
合計	415	100.0%



■『植樹や間伐など森林保全活動への参加』については、「参加する気はない」が48.4%と一番多く、次いで「機会があれば参加したい」が42.4%、「参加したい」が5.5%となっている。

⑧田植えや稲刈りなど農業体験への参加

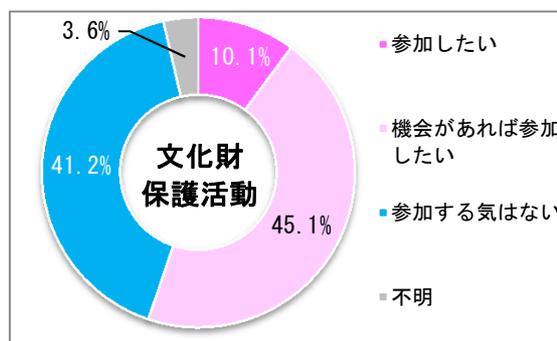
	票数	割合
1 参加したい	33	8.0%
2 機会があれば参加したい	138	33.3%
3 参加する気はない	229	55.2%
99 不明	15	3.6%
合計	415	100.0%



■『田植えや稲刈りなど農業体験への参加』については、「参加する気はない」が55.2%と一番多く、次いで「機会があれば参加したい」が33.3%、「参加したい」が8.0%となっている。

⑨文化財や歴史的遺産などの保護活動への参加

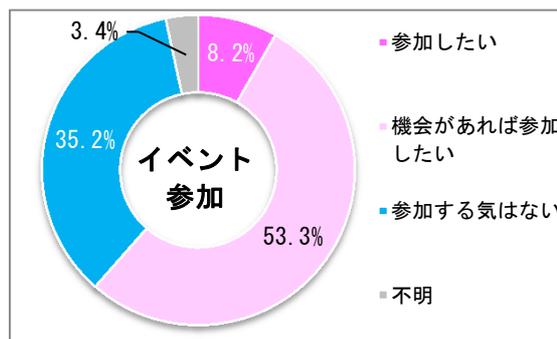
	票数	割合
1 参加したい	42	10.1%
2 機会があれば参加したい	187	45.1%
3 参加する気はない	171	41.2%
99 不明	15	3.6%
合計	415	100.0%



■『文化財や歴史的遺産などの保護活動への参加』については、「機会があれば参加したい」が45.1%と一番多く、次いで「参加する気はない」が41.2%、「参加したい」が10.1%となっている。

⑩環境に関するイベントなどへの参加

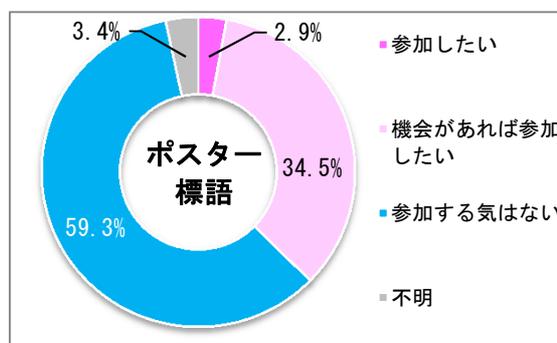
	票数	割合
1 参加したい	34	8.2%
2 機会があれば参加したい	221	53.3%
3 参加する気はない	146	35.2%
99 不明	14	3.4%
合計	415	100.0%



■『環境に関するイベントなどへの参加』については、「機会があれば参加したい」が53.3%と一番多く、次いで「参加する気はない」が35.2%、「参加したい」が8.2%となっている。

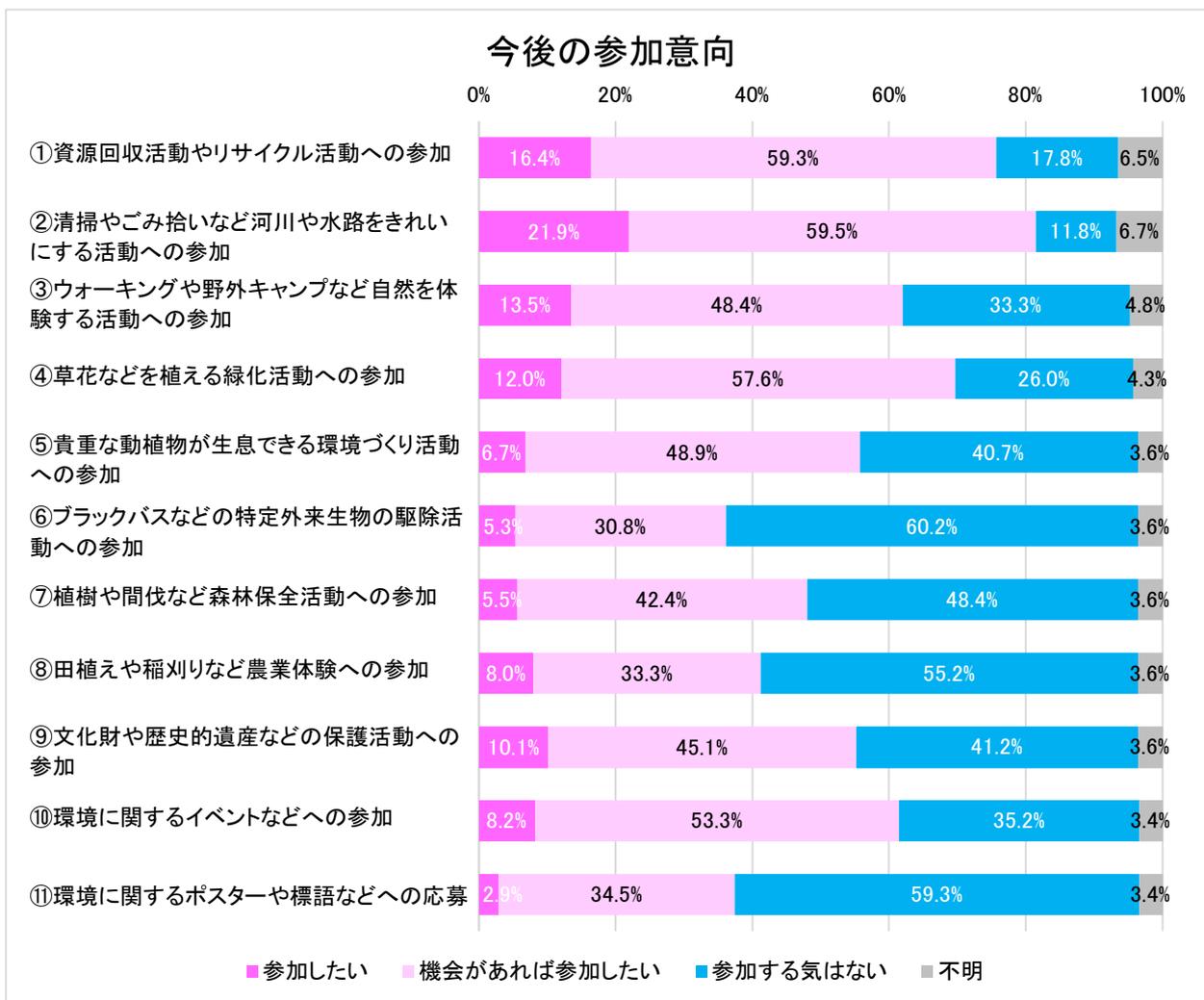
⑪環境に関するポスターや標語などへの応募

	票数	割合
1 参加したい	12	2.9%
2 機会があれば参加したい	143	34.5%
3 参加する気はない	246	59.3%
99 不明	14	3.4%
合計	415	100.0%



■『環境に関するポスターや標語などへの応募』については、「参加する気はない」が59.3%と一番多く、次いで「機会があれば参加したい」が34.5%、「参加したい」が2.9%となっている。

■『その他』については、今後参加したい取り組みとして「ごみ（生ゴミ）のたい肥化」が挙げられている。

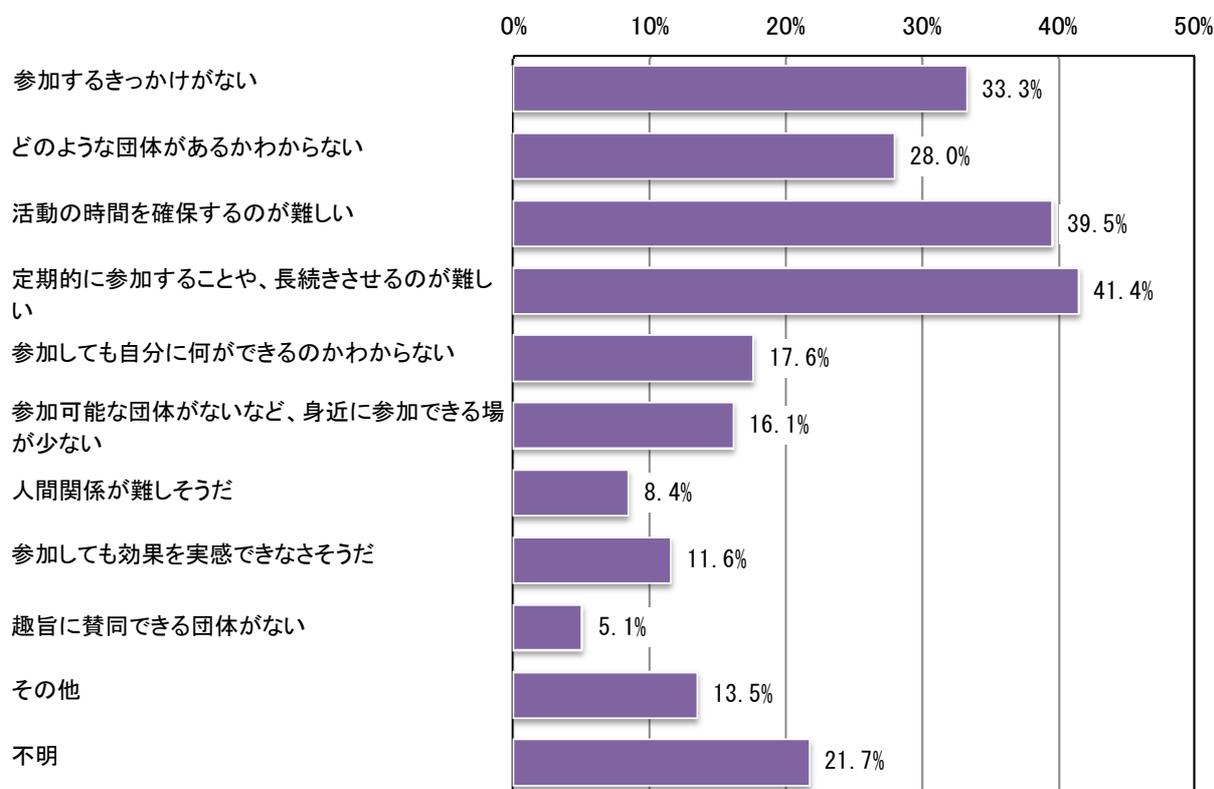


■ 『長浜市の環境をより良くする活動に今後も参加したいと思うか』の「参加したい」は、「清掃やごみ拾いなど河川や水路をきれいにする活動への参加」が21.9%と一番多く、次いで「資源回収活動やリサイクル活動への参加」が16.4%、「ウォーキングや野外キャンプなど自然を体験する活動への参加」が13.5%の順で多くなっている。逆に「参加する気はない」は、「ブラックバスなどの特定外来生物の駆除活動への参加」が60.2%が一番多く、次いで「環境に関するポスターや標語などへの応募」が59.3%、「田植えや稲刈りなど農業体験への参加」が55.2%の順で多くなっている。

問4 前問の「今後の参加意向」で「参加する気はない」と回答した方のみお聞きします。
参加する気がない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。（すべてに○）

	票数	割合
1 参加するきっかけがない	138	33.3%
2 どのような団体があるかわからない	116	28.0%
3 活動の時間を確保するのが難しい	164	39.5%
4 定期的に参加することや、長続きさせるのが難しい	172	41.4%
5 参加しても自分に何ができるのかわからない	73	17.6%
6 参加可能な団体がないなど、身近に参加できる場が少ない	67	16.1%
7 人間関係が難しそうだ	35	8.4%
8 参加しても効果を実感できなさそう	48	11.6%
9 趣旨に賛同できる団体がない	21	5.1%
10 その他	56	13.5%
99 不明	90	21.7%
合計	980	

参加する気がない理由



■ 『参加する気がない理由』については「定期的に参加することや、長続きさせるのが難しい」が41.4%と一番多く、次いで「活動の時間を確保するのが難しい」が39.5%、「参加するきっかけがない」が33.3%の順で多くなっている。

Ⅳ：長浜市の環境保全・対策について

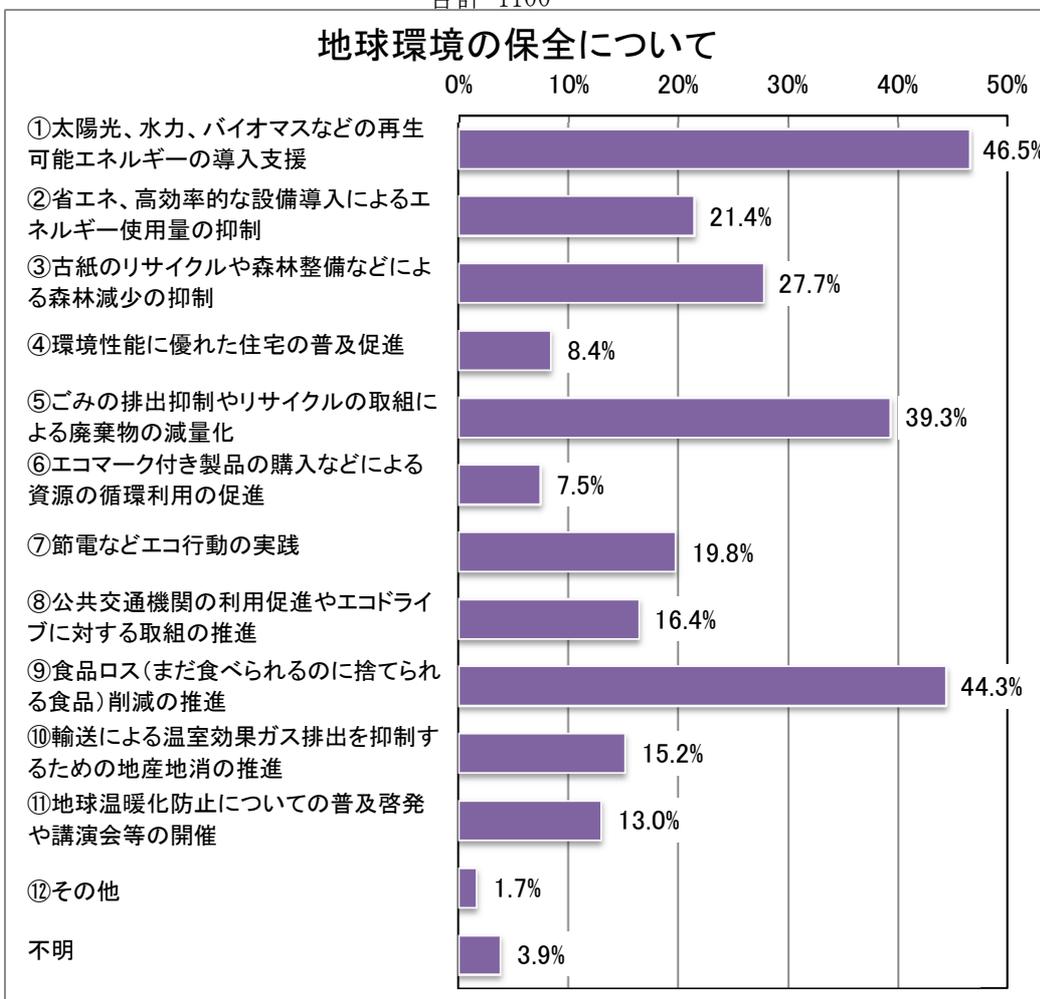
問5 環境保全を進めるために、市は今後10年間で、どのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。
(3つ以内に○)

【①地球環境の保全について】

	票数	割合
1 ①太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入支援	193	46.5%
2 ②省エネ、高効率な設備導入によるエネルギー使用量の抑制	89	21.4%
3 ③古紙のリサイクルや森林整備などによる森林減少の抑制	115	27.7%
4 ④環境性能に優れた住宅の普及促進	35	8.4%
5 ⑤ごみの排出抑制やリサイクルの取組による廃棄物の減量化	163	39.3%
6 ⑥エコマーク付き製品の購入などによる資源の循環利用の促進	31	7.5%
7 ⑦節電などエコ行動の実践	82	19.8%
8 ⑧公共交通機関の利用促進やエコドライブに対する取組の推進	68	16.4%
9 ⑨食品ロス(まだ食べられるのに捨てられる食品)削減の推進	184	44.3%
10 ⑩輸送による温室効果ガス排出を抑制するための地産地消の推進	63	15.2%
11 ⑪地球温暖化防止についての普及啓発や講演会等の開催	54	13.0%
12 ⑫その他	7	1.7%
99 不明	16	3.9%

合計 1100

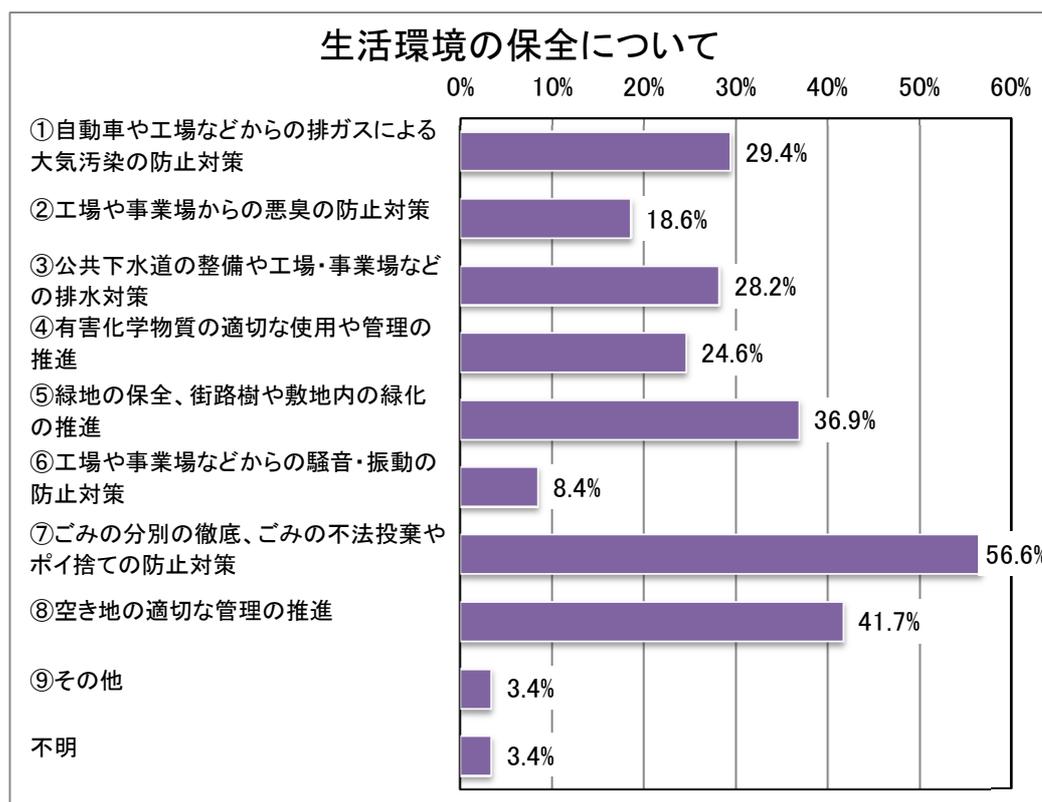
■『地球環境の保全について』は「太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入支援」が46.5%と一番多く、次いで「食品ロス(まだ食べられるのに捨てられる食品)削減の推進」が44.3%、「ごみの排出抑制やリサイクルの取組による廃棄物の減量化」が39.3%の順で多くなっている。



【②生活環境の保全について】

	票数	割合
1 ①自動車や工場などからの排ガスによる大気汚染の防止対策	122	29.4%
2 ②工場や事業場からの悪臭の防止対策	77	18.6%
3 ③公共下水道の整備や工場・事業場などの排水対策	117	28.2%
4 ④有害化学物質の適切な使用や管理の推進	102	24.6%
5 ⑤緑地の保全、街路樹や敷地内の緑化の推進	153	36.9%
6 ⑥工場や事業場などからの騒音・振動の防止対策	35	8.4%
7 ⑦ごみの分別の徹底、ごみの不法投棄やポイ捨ての防止対策	235	56.6%
8 ⑧空き地の適切な管理の推進	173	41.7%
9 ⑨その他	14	3.4%
99 不明	14	3.4%

合計 1042

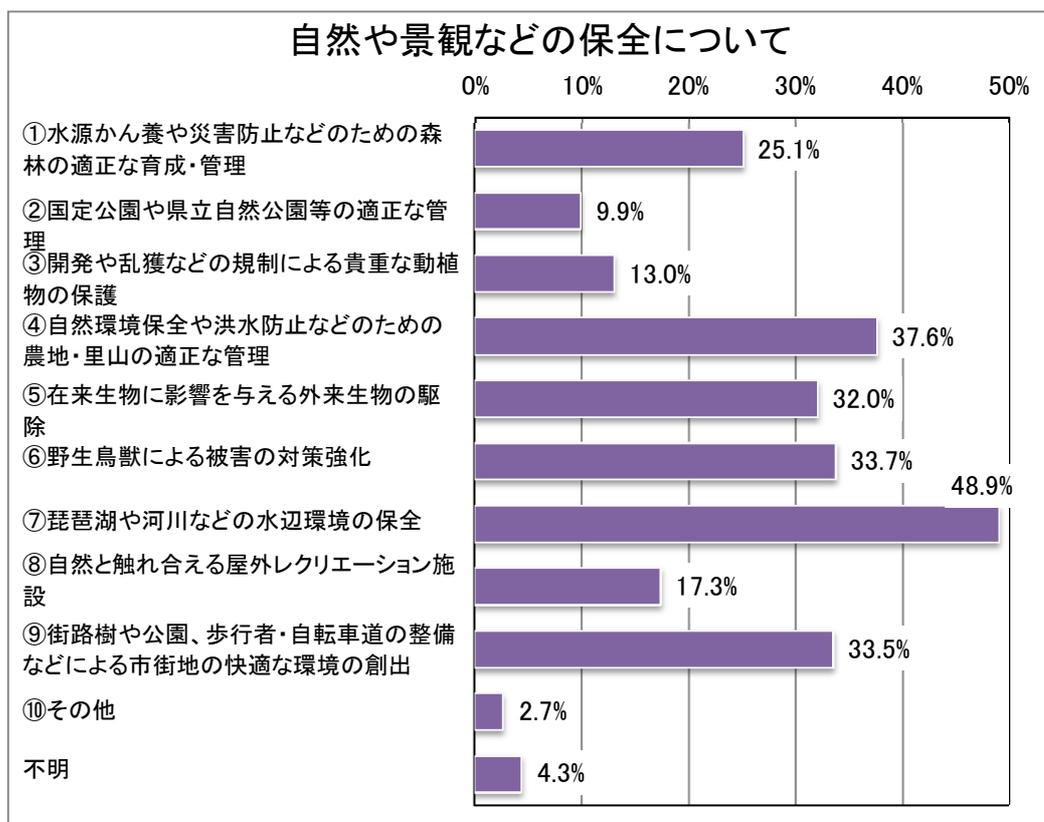


■『生活環境の保全について』は「ごみの分別の徹底、ごみの不法投棄やポイ捨ての防止対策」が56.6%と一番多く、次いで「空き地の適切な管理の推進」が41.7%、「緑地の保全、街路樹や敷地内の緑化の推進」が36.9%の順で多くなっている。

【③自然や景観などの保全について】

	票数	割合
1 ①水源かん養や災害防止などのための森林の適正な育成・管理	104	25.1%
2 ②国定公園や県立自然公園等の適正な管理	41	9.9%
3 ③開発や乱獲などの規制による貴重な動植物の保護	54	13.0%
4 ④自然環境保全や洪水防止などのための農地・里山の適正な管理	156	37.6%
5 ⑤在来生物に影響を与える外来生物の駆除	133	32.0%
6 ⑥野生鳥獣による被害の対策強化	140	33.7%
7 ⑦琵琶湖や河川などの水辺環境の保全	203	48.9%
8 ⑧自然と触れ合える屋外レクリエーション施設の充実	72	17.3%
9 ⑨街路樹や公園、歩行者・自転車道の整備などによる市街地の快適な環境の創出	139	33.5%
10 ⑩その他	11	2.7%
99 不明	18	4.3%

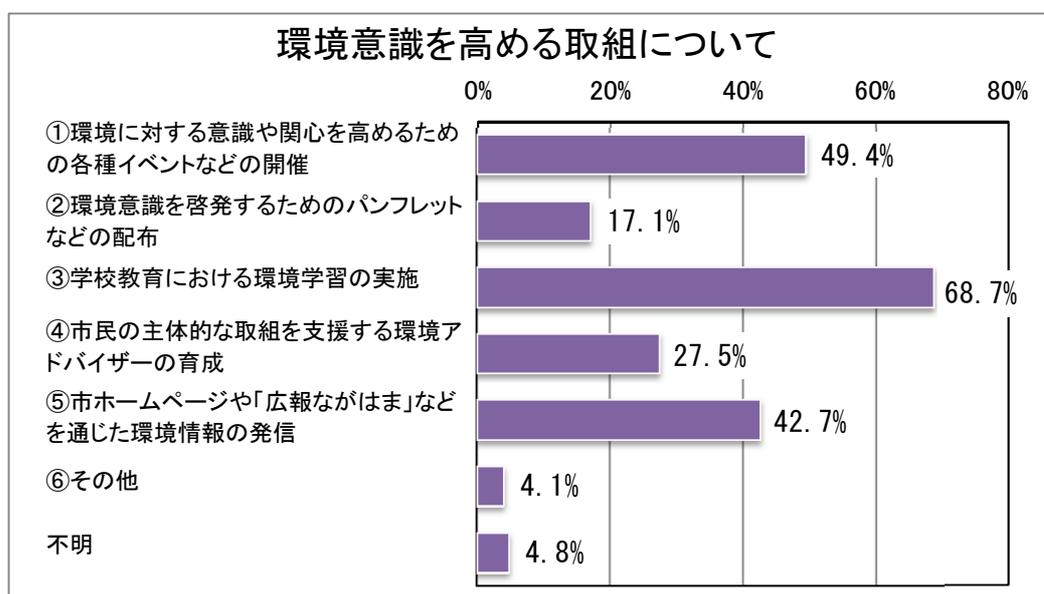
合計 1071



■ 『自然や景観などの保全について』は「琵琶湖や河川などの水辺環境の保全」が48.9%と一番多く、次いで「自然環境保全や洪水防止などのための農地・里山の適正な管理」が37.6%、「野生鳥獣による被害の対策強化」が33.7%の順で多くなっている。

【④環境意識を高める取組について】

	票数	割合
1 ①環境に対する意識や関心を高めるための各種イベントなどの開催	205	49.4%
2 ②環境意識を啓発するためのパンフレットなどの配布	71	17.1%
3 ③学校教育における環境学習の実施	285	68.7%
4 ④市民の主体的な取組を支援する環境アドバイザーの育成	114	27.5%
5 ⑤市ホームページや「広報ながはま」などを通じた環境情報の発信	177	42.7%
6 ⑥その他	17	4.1%
99 不明	20	4.8%
合計	889	

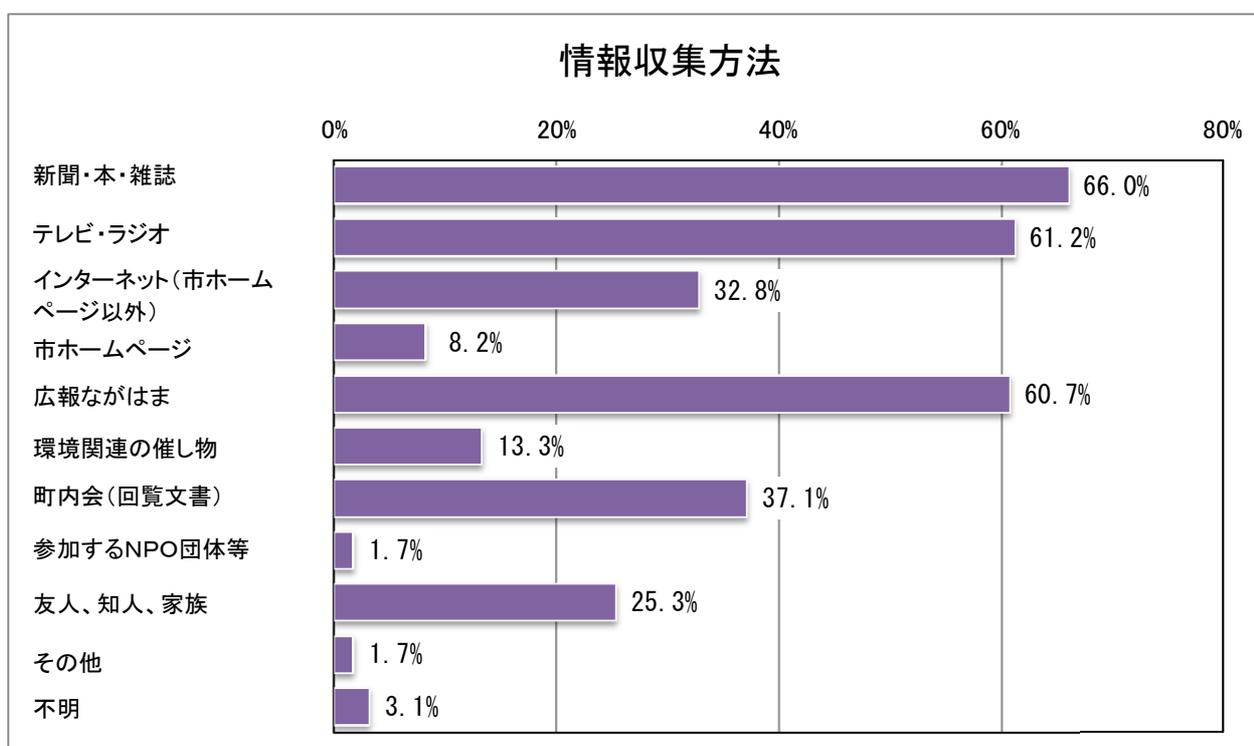


■『環境意識を高める取組について』は「学校教育における環境学習の実施」が68.7%と一番多く、次いで「環境に対する意識や関心を高めるための各種イベントなどの開催」が49.4%、「市ホームページや「広報ながはま」などを通じた環境情報の発信」が42.7%の順で多くなっている。

問6 環境全般に関する情報などを知る場合、どういった方法で情報収集していますか。
(すべてに○)

	票数	割合
1 新聞・本・雑誌	274	66.0%
2 テレビ・ラジオ	254	61.2%
3 インターネット（市ホームページ以外）	136	32.8%
4 市ホームページ	34	8.2%
5 広報ながはま	252	60.7%
6 環境関連の催し物	55	13.3%
7 町内会（回覧文書）	154	37.1%
8 参加するNPO団体等	7	1.7%
9 友人、知人、家族	105	25.3%
10 その他	7	1.7%
99 不明	13	3.1%

合計 1291



■『環境全般に関する情報などを知る場合、どういった方法で情報収集しているか』については「新聞・本・雑誌」が66.0%と一番多く、次いで「テレビ・ラジオ」が61.2%、「広報ながはま」が60.7%の順で多くなっている。

〈自由意見〉

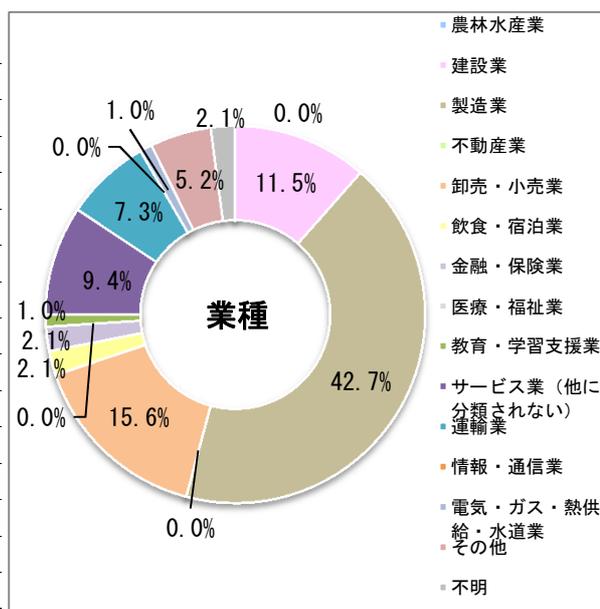
分類	主な内容
ごみのポイ捨て・美化	<ul style="list-style-type: none"> ・国道横の歩道など、ポイ捨てされたごみが多い。道に犬のフンが多い。住民の意識が低いのが残念。人間のエリアと動物の生息地域の適度な距離が保てるような取組みをしてほしい（恐ろしくて夜、外に出られないので）。 ・私は川の下流に住んでいるが、上の方からコンビニの袋に何か食べた後のものを川に捨てたり、ペットボトルなどが流れてくる。5月～10月まで1ヵ月に一度、川掃除をしている。大雨が降った時など、琵琶湖近くの川はすごいごみが浮いている。これが琵琶湖に流れていくのかと思うと悲しくなる。 ・道路沿いの田畑へのペットボトル、コンビニごみのポイ捨てがとても気になる。また、まだ家庭内で出たごみを自分の畑で燃やすという行為をされる方もいて、環境への関心のなさに憤りを感じる。 ・ごみの不法投棄の徹底的な取り締まりをしていただきたい。
琵琶湖・河川	<ul style="list-style-type: none"> ・一般河川に魚が住める河川にするために三面張の水路から底打をしない水路とする。また側壁を空石積みとする。 ・川の中に雑草や土砂があり、水の流れがスムーズでないところがある。そのため、今回（今年の台風、大雨）は増水していて大変だった。町内でも川刈など行事として行っているが、人手だけでは困難、重機を必要とすると思う。 ・琵琶湖の湖岸や河川の環境整備をしてほしい。
市民の意識や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関心はあるが、町内活動等の最小限での活動しか参加できない（時間的に）。 ・環境に関する団体が分からないので、団体名や活動内容をホームページで分かるようにしてほしい。 ・個人々が、環境について関心を持つ事が大切である。
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町に比べると太陽光発電（事業所等）が進んでいないように思う。 ・太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入支援については、やる気のない国に頼らず、市独自で条例を作ってもぜひしてもらいたい。
景観、空地・空家	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく早急に決めてもらいたいことは、家屋建物の色をピンクや派手なオレンジにしないこと等、景観の条例を出してほしい。 ・老世帯と空家、廃屋が目立ち始め、土地利用について無秩序で、駐車場やアパート、建て売り一戸建て住宅が所狭しと建ち並び、地域コミュニティも無くなっている。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・豊公園や琵琶湖岸に市民が集える自然の広い野原のような公園を作る（テニスコート等は不要）。 ・市民が気軽に憩える緑や小動物に囲まれた公園が各所（できるだけ多く、大きい）にほしい。
森林整備・鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ・森林管理が増々少なくなり、河川や琵琶湖が汚水に変わって行くことを早く対策してほしい。 ・私の家は山に囲まれた状況なので、山の持ち主、管理者に間伐などの山の整理をしてほしい。また、イノシシや鹿の獣害により、土が掘り起こされ、木が枯れて、木の根がむき出しになっており、いつ倒れてくるかわからない。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・私の住んでいる所で神社の大木の代採、街路樹や敷地内の大木の代採など昔から思えば、緑が少なくなっている。落葉のごみ、電線への安全、家の屋根への影響など。緑の保全とはほど遠い状況だ。
公害	<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動する企業と長浜市の間で公害防止に協定を締結し、住みよい環境が維持できる様にする。又、その内容を住民に知らせることで公害発生防止が出来ると思われる。悪臭、騒音、振動、大気、排水等、近くの住民が最も知りたいし感じ取っていると思う。

(2) 事業所

I : フェイスシート

(F1) 業種

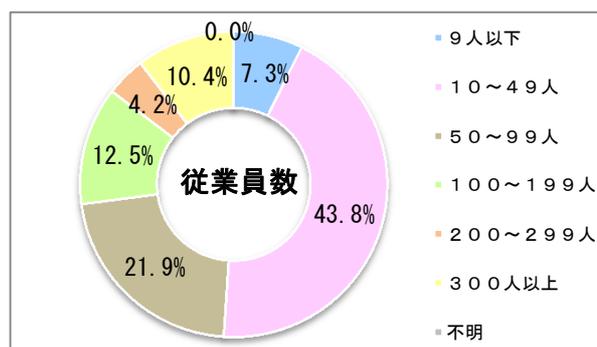
	票数	割合
1 農林水産業	0	0.0%
2 建設業	11	11.5%
3 製造業	41	42.7%
4 不動産業	0	0.0%
5 卸売・小売業	15	15.6%
6 飲食・宿泊業	2	2.1%
7 金融・保険業	2	2.1%
8 医療・福祉業	0	0.0%
9 教育・学習支援業	1	1.0%
10 サービス業（他に分類されない）	9	9.4%
11 運輸業	7	7.3%
12 情報・通信業	0	0.0%
13 電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.0%
14 その他	5	5.2%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■業種は「製造業」が42.7%と一番多く、次いで「卸売・小売業」が15.6%、「建設業」が11.5%の順となっている。

(F2) 従業員数

	票数	割合
1 9人以下	7	7.3%
2 10～49人	42	43.8%
3 50～99人	21	21.9%
4 100～199人	12	12.5%
5 200～299人	4	4.2%
6 300人以上	10	10.4%
99 不明	0	0.0%
合計	96	100.0%



■従業員数は「10～49人」が43.8%と一番多く、次いで「50～99人」が21.9%、「100～199人」が12.5%の順となっている。

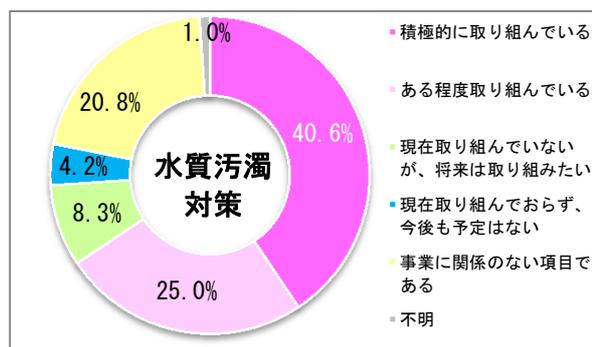
Ⅱ：貴事業所の環境への取組について

問1 貴事業所での環境に対する取組の内容についてお聞きします。（それぞれ1つに○）

●ひとの健康と安全の確保について

①琵琶湖や河川などへの水質汚濁対策

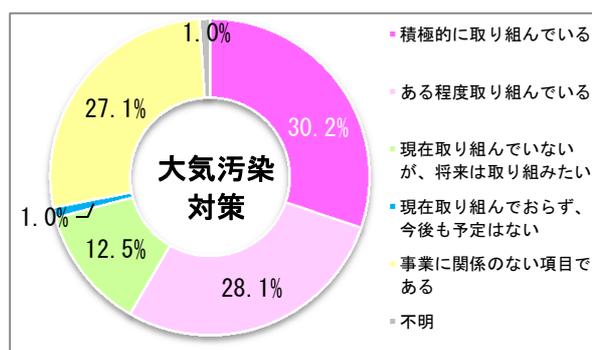
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	39	40.6%
2 ある程度取り組んでいる	24	25.0%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	8	8.3%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	4	4.2%
5 事業に関係のない項目である	20	20.8%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『琵琶湖や河川などへの水質汚濁対策』については「積極的に取り組んでいる」が40.6%と一番多く、次いで「ある程度取り組んでいる」が25.0%、「事業に関係のない項目である」が20.8%の順となっている。

②大気汚染対策

	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	29	30.2%
2 ある程度取り組んでいる	27	28.1%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	12	12.5%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	1	1.0%
5 事業に関係のない項目である	26	27.1%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%

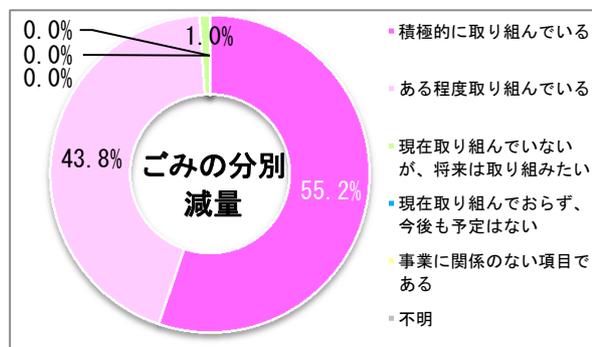


■『大気汚染対策』については「積極的に取り組んでいる」が30.2%と一番多く、次いで「ある程度取り組んでいる」が28.1%、「事業に関係のない項目である」が27.1%の順となっている。

●もの・水・エネルギーの循環について

③事業所内におけるごみの分別・減量

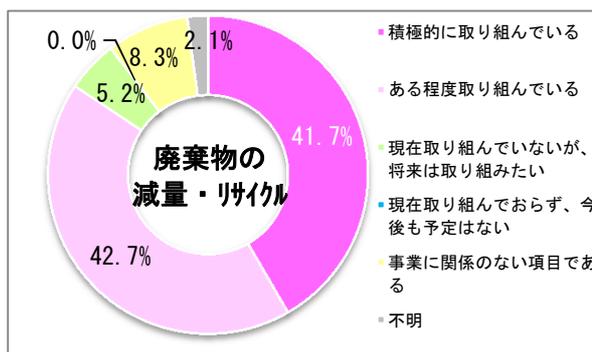
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	53	55.2%
2 ある程度取り組んでいる	42	43.8%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	1	1.0%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	0	0.0%
5 事業に関係のない項目である	0	0.0%
99 不明	0	0.0%
合計	96	100.0%



■『事業所内におけるごみの分別・減量』については「積極的に取り組んでいる」が55.2%と一番多く、次いで「ある程度取り組んでいる」が43.8%、「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が1.0%の順となっている。

④製造・流通過程における廃棄物の減量・リサイクル

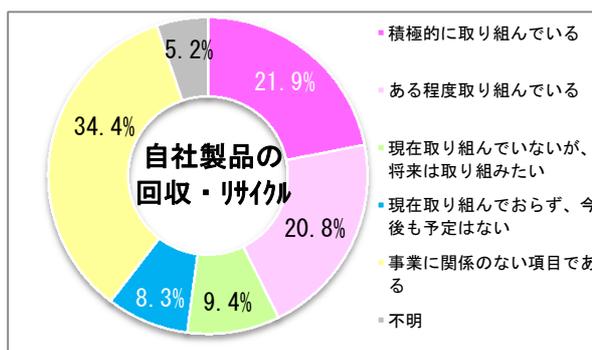
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	40	41.7%
2 ある程度取り組んでいる	41	42.7%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	5	5.2%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	0	0.0%
5 事業に関係のない項目である	8	8.3%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■『製造・流通過程における廃棄物の減量・リサイクル』については「ある程度取り組んでいる」が42.7%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が41.7%、「事業に関係のない項目である」が8.3%の順となっている。

⑤自社製品の回収・リサイクル

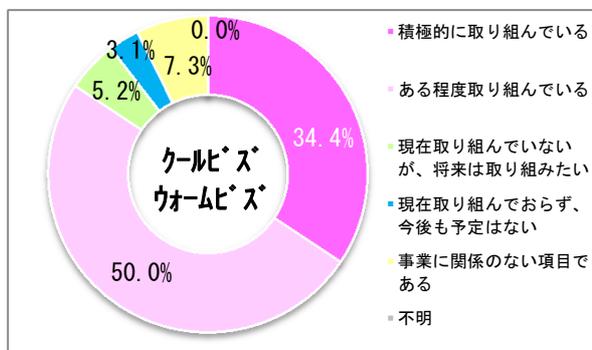
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	21	21.9%
2 ある程度取り組んでいる	20	20.8%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	9	9.4%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	8	8.3%
5 事業に関係のない項目である	33	34.4%
99 不明	5	5.2%
合計	96	100.0%



■『自社製品の回収・リサイクル』については「事業に関係のない項目である」が34.4%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が21.9%、「ある程度取り組んでいる」が20.8%の順となっている。

⑥「クールビズ」や「ウォームビズ」の奨励

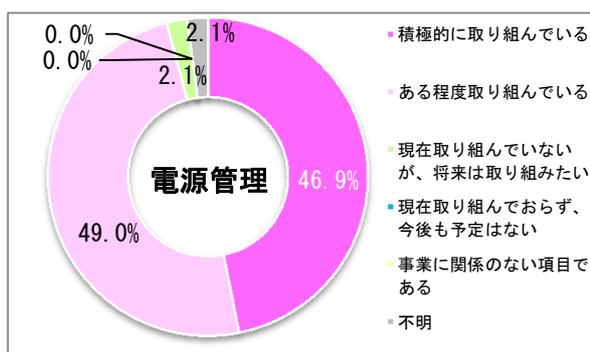
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	33	34.4%
2 ある程度取り組んでいる	48	50.0%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	5	5.2%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	3	3.1%
5 事業に関係のない項目である	7	7.3%
99 不明	0	0.0%
合計	96	100.0%



■『「クールビズ」や「ウォームビズ」の奨励』については「ある程度取り組んでいる」が50.0%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が34.4%、「事業に関係のない項目である」が7.3%の順となっている。

⑦ 蛍光灯の間引きや不要な照明の消灯などの電源管理

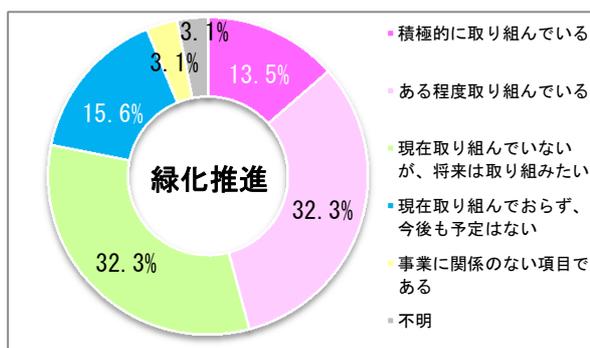
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	45	46.9%
2 ある程度取り組んでいる	47	49.0%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	2	2.1%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	0	0.0%
5 事業に関係のない項目である	0	0.0%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■『蛍光灯の間引きや不要な照明の消灯などの電源管理』については「ある程度取り組んでいる」が49.0%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が46.9%、「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が2.1%の順となっている。

⑧ 事業所敷地内の緑化推進（植栽、屋上・壁面緑化、グリーンカーテンなど）

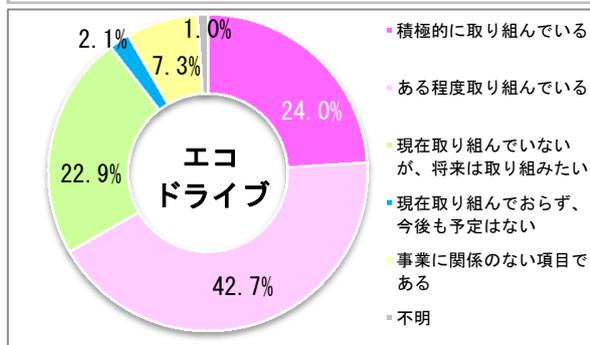
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	13	13.5%
2 ある程度取り組んでいる	31	32.3%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	31	32.3%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	15	15.6%
5 事業に関係のない項目である	3	3.1%
99 不明	3	3.1%
合計	96	100.0%



■『事業所敷地内の緑化推進（植栽、屋上・壁面緑化、グリーンカーテンなど）』については「ある程度取り組んでいる」と「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が32.3%と最も多く、次いで「現在取り組んでおらず、今後も予定はない」が15.6%、「積極的に取り組んでいる」が13.5%の順となっている。

⑨ 業務用車両のエコドライブの実践

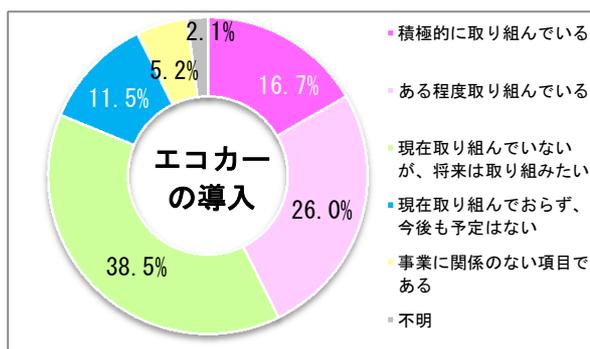
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	23	24.0%
2 ある程度取り組んでいる	41	42.7%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	22	22.9%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	2	2.1%
5 事業に関係のない項目である	7	7.3%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『業務用車両のエコドライブの実践』については「ある程度取り組んでいる」が42.7%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が24.0%、「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が22.9%の順となっている。

⑩エコカー（ハイブリッドカー、電気自動車など）の導入

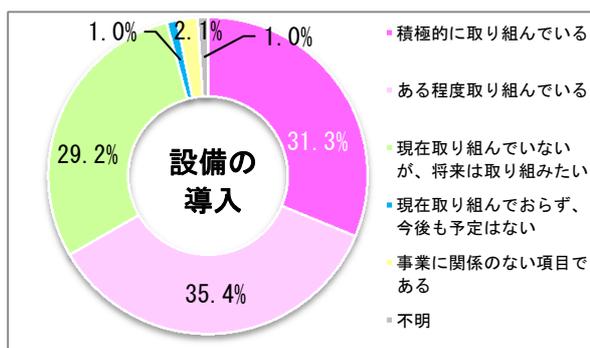
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	16	16.7%
2 ある程度取り組んでいる	25	26.0%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	37	38.5%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	11	11.5%
5 事業に関係のない項目である	5	5.2%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■『エコカー（ハイブリッドカー、電気自動車など）の導入』については「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が38.5%と一番多く、次いで「ある程度取り組んでいる」が26.0%、「積極的に取り組んでいる」が16.7%の順となっている。

⑪省エネルギー機器・設備の導入

	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	30	31.3%
2 ある程度取り組んでいる	34	35.4%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	28	29.2%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	1	1.0%
5 事業に関係のない項目である	2	2.1%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%

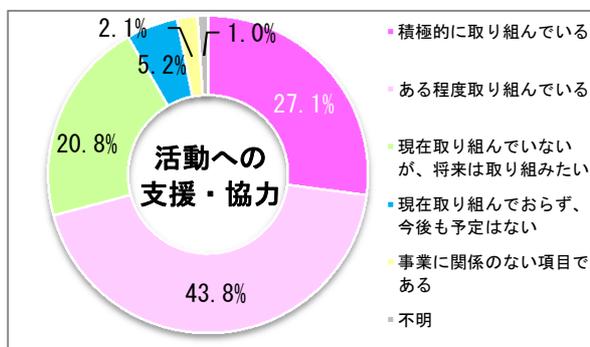


■『省エネルギー機器・設備の導入』については「ある程度取り組んでいる」が35.4%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が31.3%、「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が29.2%の順となっている。

●環境に配慮した事業活動

⑫環境美化活動、緑地保全活動、地域の環境保全活動への支援・協力

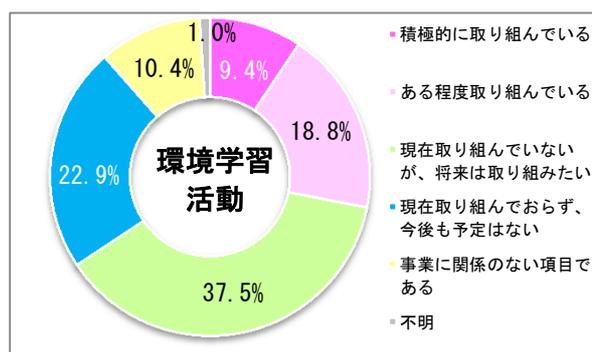
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	26	27.1%
2 ある程度取り組んでいる	42	43.8%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	20	20.8%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	5	5.2%
5 事業に関係のない項目である	2	2.1%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『環境美化活動、緑地保全活動、地域の環境保全活動への支援・協力』については「ある程度取り組んでいる」が43.8%と一番多く、次いで「積極的に取り組んでいる」が27.1%、「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が20.8%の順となっている。

⑬環境学習活動の機会を提供（工場・施設の見学、環境学習講座の開催など）

	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	9	9.4%
2 ある程度取り組んでいる	18	18.8%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	36	37.5%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	22	22.9%
5 事業に関係のない項目である	10	10.4%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%

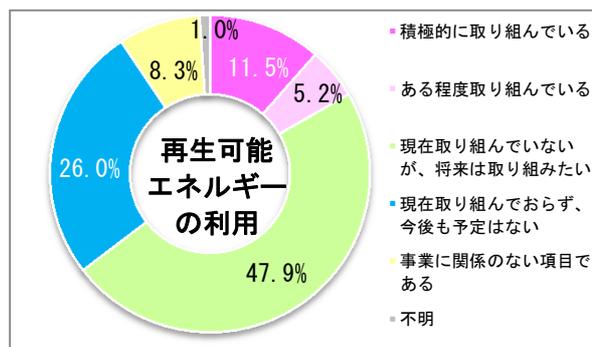


■『環境学習活動の機会を提供（工場・施設の見学、環境学習講座の開催など）』については「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が37.5%と一番多く、次いで「現在取り組んでおらず、今後も予定はない」が22.9%、「ある程度取り組んでいる」が18.8%の順となっている。

●地球環境保全への貢献

⑭太陽光発電やバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーの利用

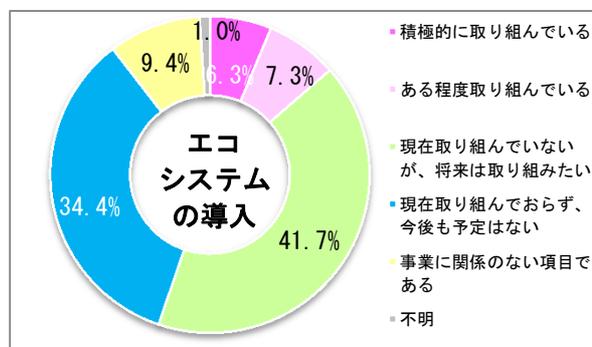
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	11	11.5%
2 ある程度取り組んでいる	5	5.2%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	46	47.9%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	25	26.0%
5 事業に関係のない項目である	8	8.3%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『太陽光発電やバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーの利用』については「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が47.9%と一番多く、次いで「現在取り組んでおらず、今後も予定はない」が26.0%、「積極的に取り組んでいる」が11.5%の順となっている。

⑮コージェネレーションシステムなどの省エネルギーシステムの導入

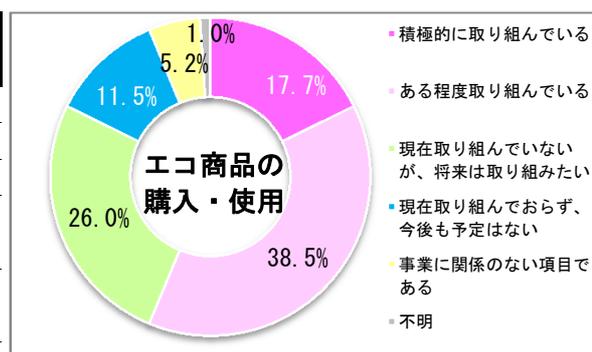
	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	6	6.3%
2 ある程度取り組んでいる	7	7.3%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	40	41.7%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	33	34.4%
5 事業に関係のない項目である	9	9.4%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『コージェネレーションシステムなどの省エネルギーシステムの導入』については「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が41.7%と一番多く、次いで「現在取り組んでおらず、今後も予定はない」が34.4%、「事業に関係のない項目である」が9.4%の順となっている。

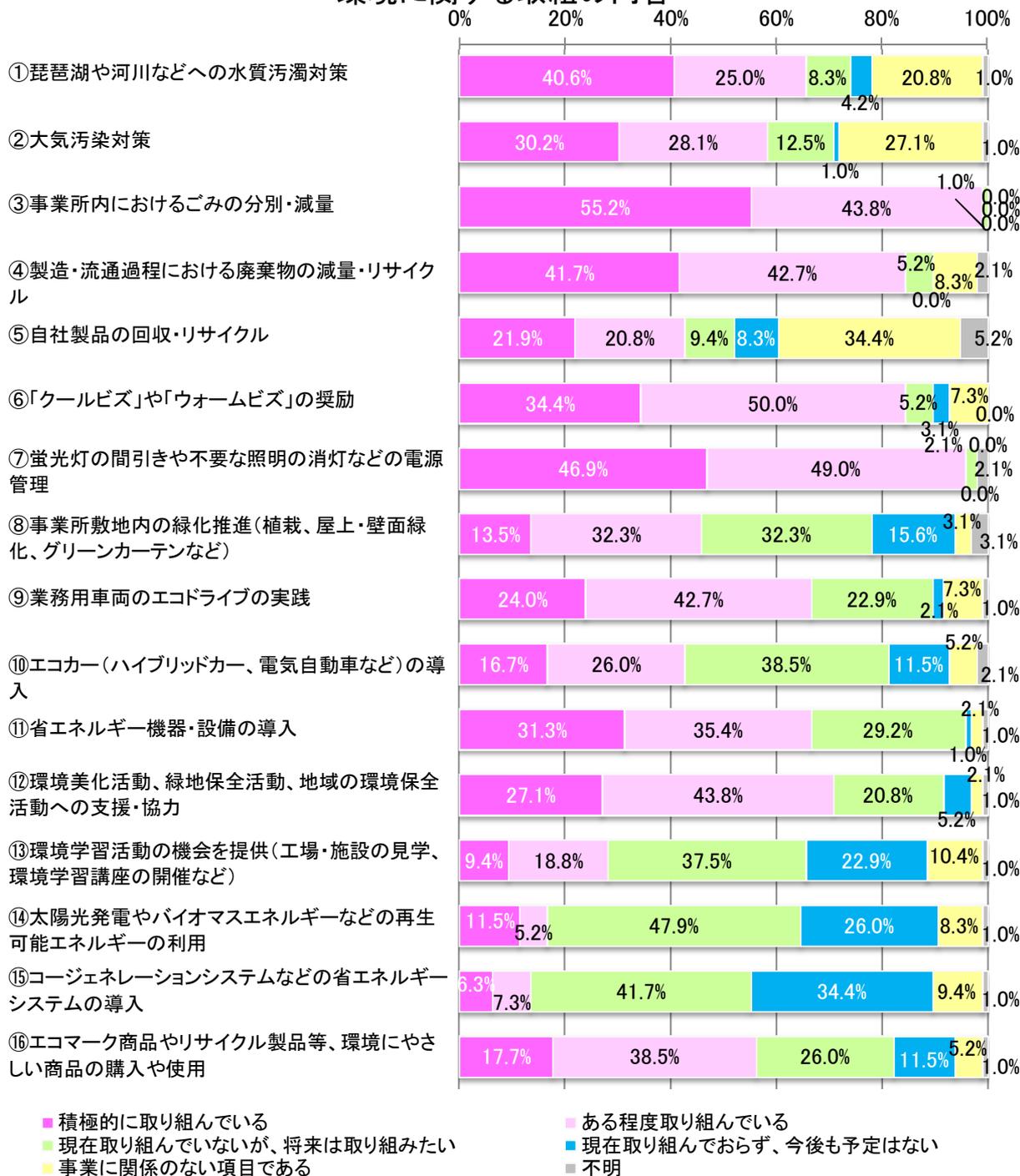
⑩ エコマーク商品やリサイクル製品等、環境にやさしい商品の購入や使用

	票数	割合
1 積極的に取り組んでいる	17	17.7%
2 ある程度取り組んでいる	37	38.5%
3 現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい	25	26.0%
4 現在取り組んでおらず、今後も予定はない	11	11.5%
5 事業に関係のない項目である	5	5.2%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■ 『エコマーク商品やリサイクル製品等、環境にやさしい商品の購入や使用』については「ある程度取り組んでいる」が38.5%と一番多く、次いで「現在取り組んでいないが、将来は取り組みたい」が26.0%、「積極的に取り組んでいる」が17.7%の順となっている。

環境に関する取組の内容

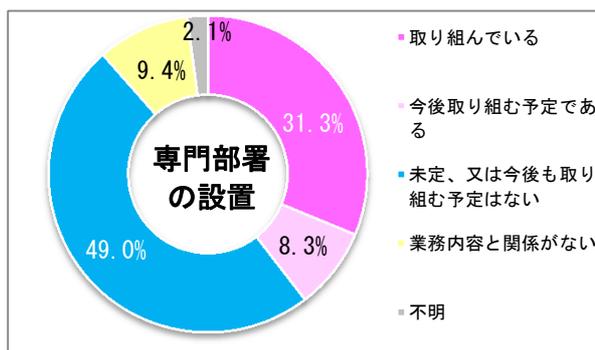


■『環境に関する取組の内容』の「積極的に取り組んでいる」については「事業所内におけるごみの分別・減量」が55.2%と一番多く、次いで「蛍光灯の間引きや不要な照明の消灯などの電源管理」が46.9%、「製造・流通過程における廃棄物の減量・リサイクル」が41.7%の順となっている。「現在取り組んでおらず、今後も予定はない」については「コージェネレーションシステムなどの省エネルギーシステムの導入」が34.4%と一番多く、次いで「太陽光発電やバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーの利用」が26.0%、「環境学習活動の機会を提供(工場・施設の見学、環境学習講座の開催など)」が22.9%の順になっている。

問2 貴事業所での、環境管理の取組の内容についてお聞きします。（それぞれ1つに○）

①環境問題を担当する専門部署の設置

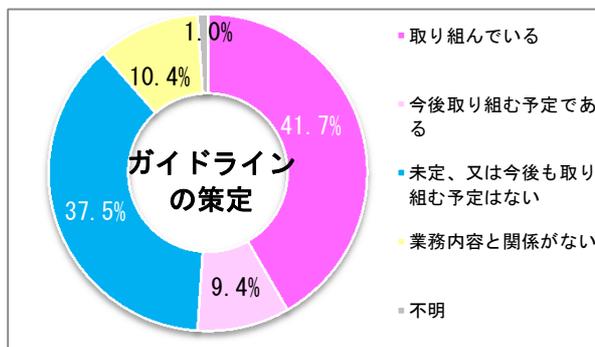
	票数	割合
1 取り組んでいる	30	31.3%
2 今後取り組む予定である	8	8.3%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	47	49.0%
4 業務内容と関係がない	9	9.4%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■『環境問題を担当する専門部署の設置』については「未定、又は今後も取り組む予定はない」が49.0%と一番多く、次いで「取り組んでいる」が31.3%、「業務内容と関係がない」が9.4%の順となっている。

②環境保全のための指針、ガイドラインの策定

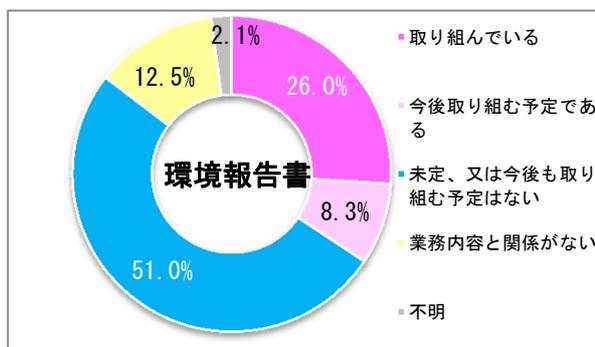
	票数	割合
1 取り組んでいる	40	41.7%
2 今後取り組む予定である	9	9.4%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	36	37.5%
4 業務内容と関係がない	10	10.4%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『環境保全のための指針、ガイドラインの策定』については「取り組んでいる」が41.7%と一番多く、次いで「未定、又は今後も取り組む予定はない」が37.5%、「業務内容と関係がない」が10.4%の順となっている。

③環境報告書の作成・公表

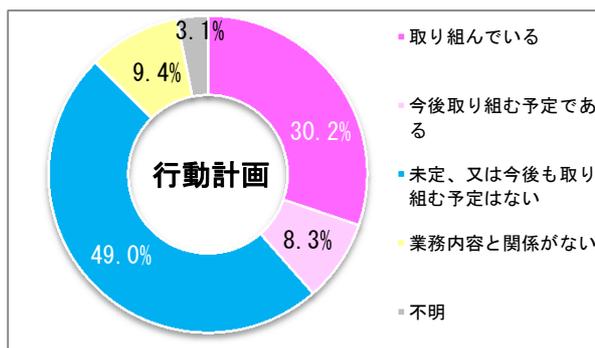
	票数	割合
1 取り組んでいる	25	26.0%
2 今後取り組む予定である	8	8.3%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	49	51.0%
4 業務内容と関係がない	12	12.5%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



■『環境報告書の作成・公表』については「未定、又は今後も取り組む予定はない」が51.0%と一番多く、次いで「取り組んでいる」が26.0%、「業務内容と関係がない」が12.5%の順となっている。

④具体的な行動計画の作成・公表

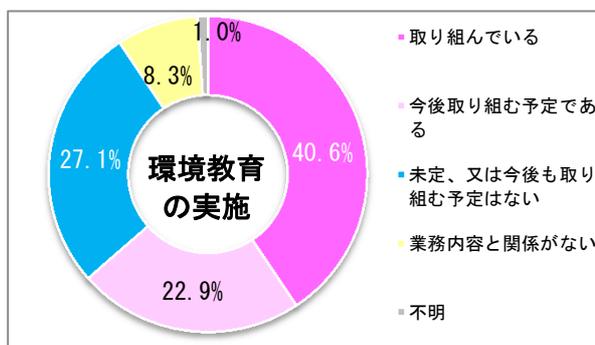
	票数	割合
1 取り組んでいる	29	30.2%
2 今後取り組む予定である	8	8.3%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	47	49.0%
4 業務内容と関係がない	9	9.4%
99 不明	3	3.1%
合計	96	100.0%



■『具体的な行動計画の作成・公表』については「未定、又は今後も取り組む予定はない」が49.0%と一番多く、次いで「取り組んでいる」が30.2%、「業務内容と関係がない」が9.4%の順となっている。

⑤従業員に対する環境教育の実施

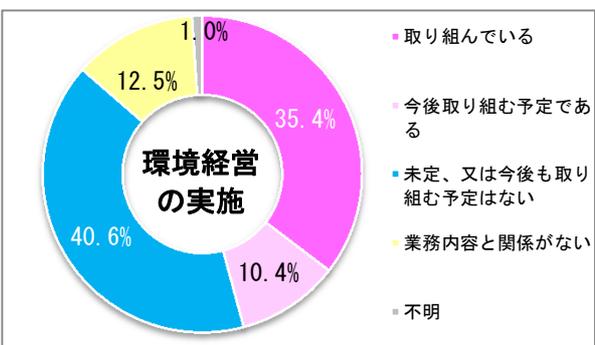
	票数	割合
1 取り組んでいる	39	40.6%
2 今後取り組む予定である	22	22.9%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	26	27.1%
4 業務内容と関係がない	8	8.3%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



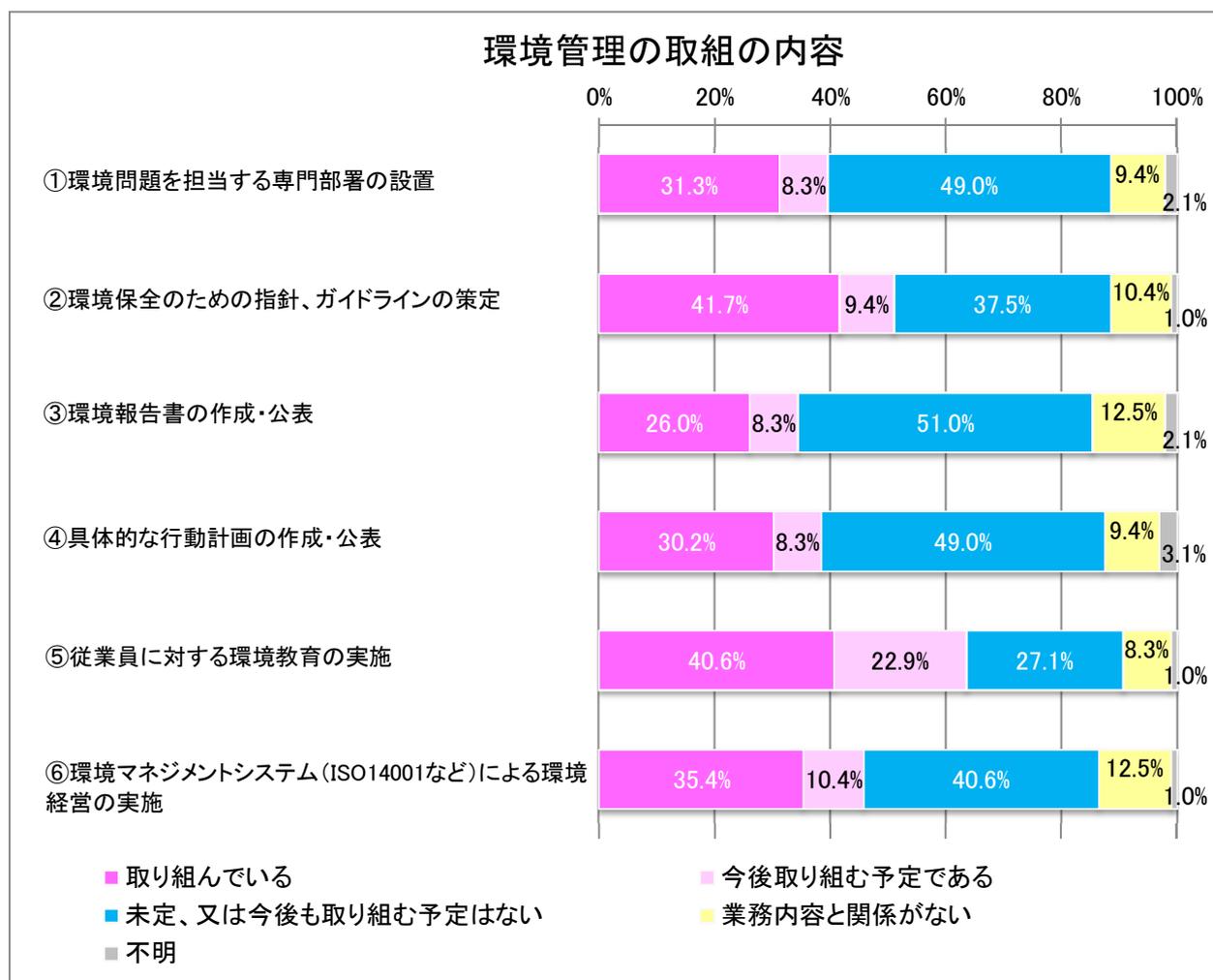
■『従業員に対する環境教育の実施』については「取り組んでいる」が40.6%と一番多く、次いで「未定、又は今後も取り組む予定はない」が27.1%、「今後取り組む予定である」が22.9%の順となっている。

⑥環境マネジメントシステム（ISO14001など）による環境経営の実施

	票数	割合
1 取り組んでいる	34	35.4%
2 今後取り組む予定である	10	10.4%
3 未定、又は今後も取り組む予定はない	39	40.6%
4 業務内容と関係がない	12	12.5%
99 不明	1	1.0%
合計	96	100.0%



■『環境マネジメントシステム（ISO14001など）による環境経営の実施』については「未定、又は今後も取り組む予定はない」が40.6%と一番多く、次いで「取り組んでいる」が35.4%、「業務内容と関係がない」が12.5%の順となっている。

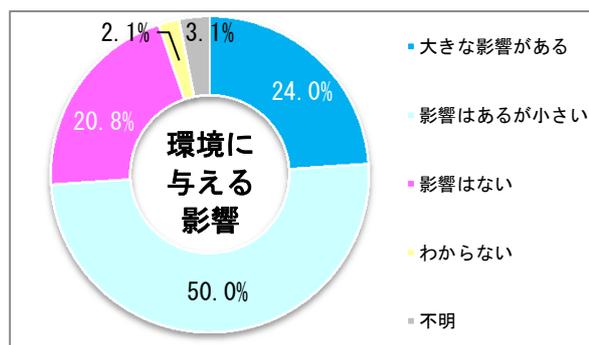


■『環境管理の取組の内容』の「取り組んでいる」については「環境保全のための指針、ガイドラインの策定」が41.7%と一番多く、次いで「従業員に対する環境教育の実施」が40.6%、「環境マネジメントシステム（ISO14001など）による環境経営の実施」が35.4%の順となっている。「未定、又は今後も取り組む予定はない」については「環境報告書の作成・公表」が51.0%と一番多く、次いで「環境問題を担当する専門部署の設置」と「具体的な行動計画の作成・公表」が49.0%、「環境マネジメントシステム（ISO14001など）による環境経営の実施」が40.6%の順になっている。

Ⅲ：環境への影響や環境保全に対するお考えについて

問3 貴事業所の事業活動が、環境に与える影響はどの程度であるとお考えですか。（1つに○）

	票数	割合
1 大きな影響がある	23	24.0%
2 影響はあるが小さい	48	50.0%
3 影響はない	20	20.8%
4 わからない	2	2.1%
99 不明	3	3.1%
合計	96	100.0%



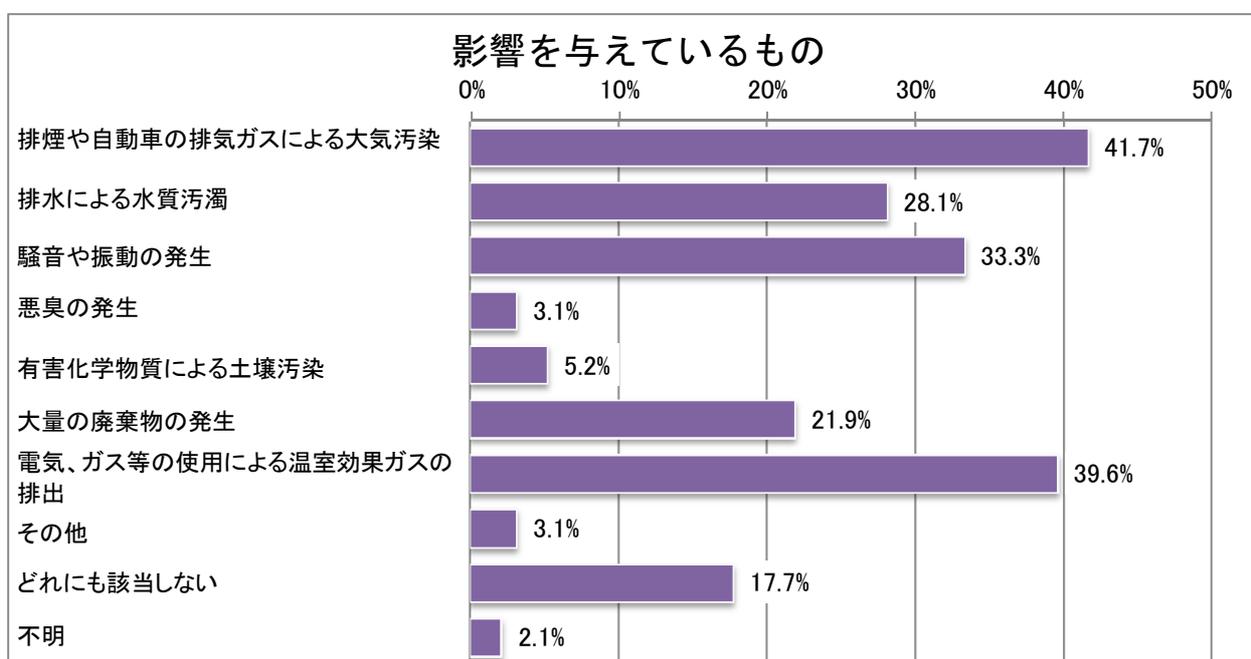
■『事業活動が環境に与える影響はどの程度であるとお考えか』については「影響はあるが小さい」が50.0%と一番多く、次いで「大きな影響がある」が24.0%、「影響はない」が20.8%の順となっている。

問4 貴事業所が提供する製品や事業活動において、環境に影響を与えていると思うもの。

（すべてに○）

	票数	割合
1 排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染	40	41.7%
2 排水による水質汚濁	27	28.1%
3 騒音や振動の発生	32	33.3%
4 悪臭の発生	3	3.1%
5 有害化学物質による土壌汚染	5	5.2%
6 大量の廃棄物の発生	21	21.9%
7 電気、ガス等の使用による温室効果ガスの排出	38	39.6%
8 その他	3	3.1%
9 どれにも該当しない	17	17.7%
99 不明	2	2.1%
合計	188	

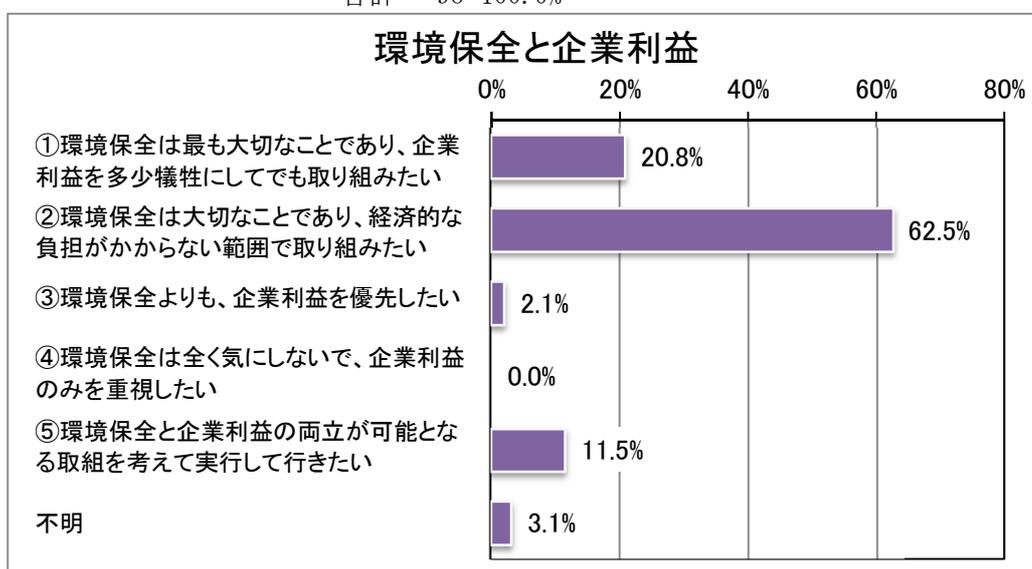
■『貴事業所が提供する製品や事業活動において、環境に影響を与えていると思うもの』については「排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染」が41.7%と一番多く、次いで「電気、ガス等の使用による温室効果ガスの排出」が39.6%、「騒音や振動の発生」が33.3%の順となっている。



問5 貴事業所では、環境保全と企業利益について、どのようにお考えですか。（1つに○）

	票数	割合
①環境保全は最も大切なことであり、企業利益を多少犠牲にしても取り組みたい	20	20.8%
②環境保全は大切なことであり、経済的な負担がかからない範囲で取り組みたい	60	62.5%
③環境保全よりも、企業利益を優先したい	2	2.1%
④環境保全は全く気にしないで、企業利益のみを重視したい	0	0.0%
⑤環境保全と企業利益の両立が可能となる取組を考えて実行して行きたい	11	11.5%
99 不明	3	3.1%
合計	96	100.0%

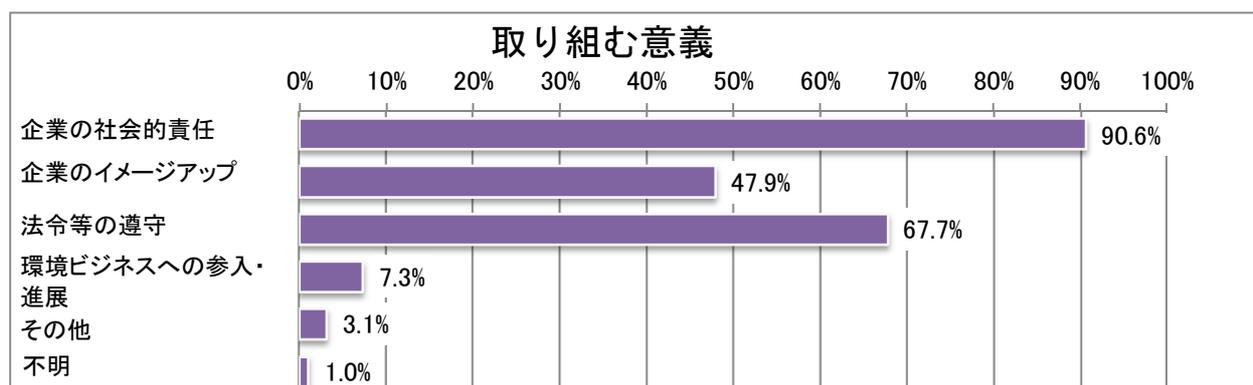
■『環境保全と企業利益について、どのように考えるか』については「環境保全は大切なことであり、経済的な負担がかからない範囲で取り組みたい」が62.5%と一番多く、次いで「環境保全は最も大切なことであり、企業利益を多少犠牲にしても取り組みたい」が20.8%、「環境保全と企業利益の両立が可能となる取組を考えて実行して行きたい」が11.5%の順となっている。



問6 事業活動において環境保全に取り組むということは、どのような意義があると考えますか。（すべてに○）

	票数	割合
1 企業の社会的責任	87	90.6%
2 企業のイメージアップ	46	47.9%
3 法令等の遵守	65	67.7%
4 環境ビジネスへの参入・進展	7	7.3%
5 その他	3	3.1%
99 不明	1	1.0%
合計	209	

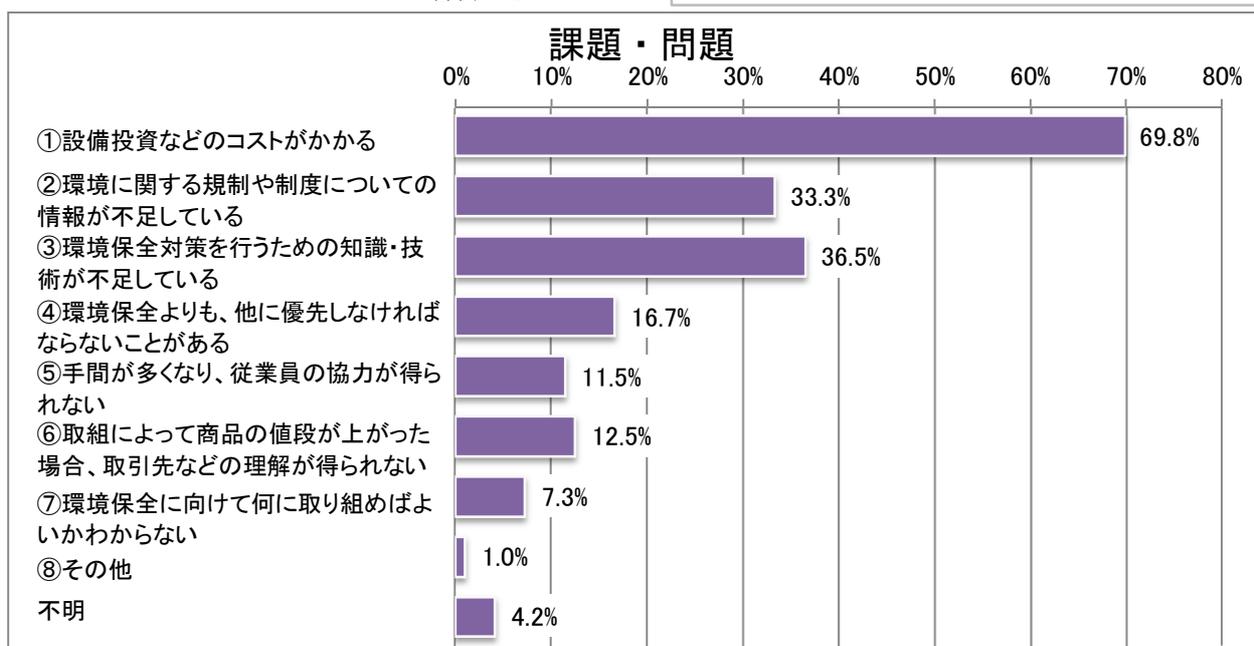
■『事業活動において環境保全に取り組むということは、どのような意義があると考えますか』については「企業の社会的責任」が90.6%と一番多く、次いで「法令等の遵守」が67.7%、「企業のイメージアップ」が47.9%の順となっている。



問7 貴事業所で環境保全に取り組む上で、課題や問題となることは何ですか。（すべてに○）

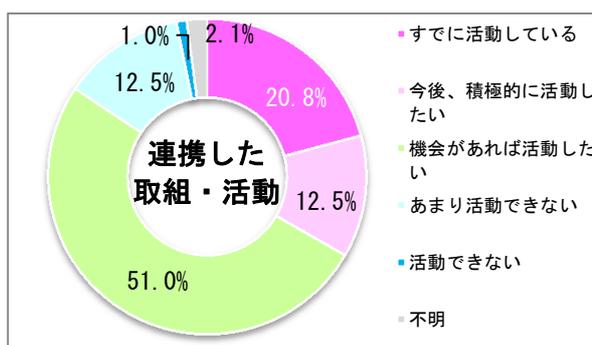
	票数	割合
1 ①設備投資などのコストがかかる	67	69.8%
2 ②環境に関する規制や制度についての情報が不足している	32	33.3%
3 ③環境保全対策を行うための知識・技術が不足している	35	36.5%
4 ④環境保全よりも、他に優先しなければならないことがある	16	16.7%
5 ⑤手間が多くなり、従業員の協力が得られない	11	11.5%
6 ⑥取組によって商品の値段が上がった場合、取引先などの理解が得られない	12	12.5%
7 ⑦環境保全に向けて何に取り組めばよいかわからない	7	7.3%
8 ⑧その他	1	1.0%
99 不明	4	4.2%
合計	185	

■『貴事業所で環境保全に取り組む上で、課題や問題となることは何か』については「設備投資などのコストがかかる」が69.8%と一番多く、次いで「環境保全対策を行うための知識・技術が不足している」が36.5%、「環境に関する規制や制度についての情報が不足している」が33.3%の順となっている。



問8 地域の環境保全のための市民・事業者・市の連携した取組や活動についてあてはまるもの。（1つに○）

	票数	割合
1 すでに活動している	20	20.8%
2 今後、積極的に活動したい	12	12.5%
3 機会があれば活動したい	49	51.0%
4 あまり活動できない	12	12.5%
5 活動できない	1	1.0%
99 不明	2	2.1%
合計	96	100.0%



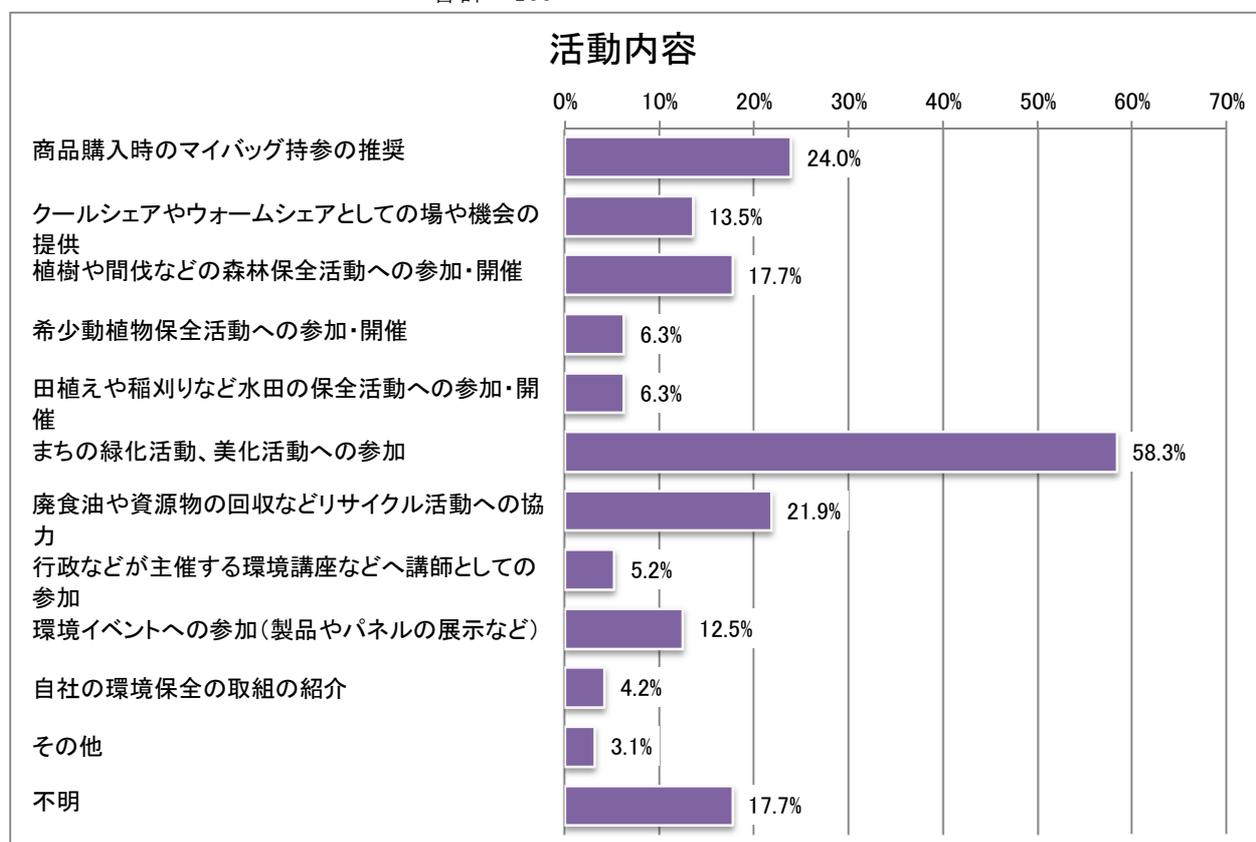
■『地域の環境保全のための市民・事業者・市の連携した取組や活動』については「機会があれば活動したい」が51.0%と一番多く、次いで「すでに活動している」が20.8%、「今後、積極的に活動したい」と「あまり活動できない」が12.5%の順となっている。

問9 問8で「1. すでに活動している」「2. 今後、積極的に活動したい」「3. 機会があれば活動したい」と回答された方におたずねします。

活動している（もしくは今後活動したい）のは、どのような内容ですか。（すべてに○）

	票数	割合
1 商品購入時のマイバッグ持参の推奨	23	24.0%
2 クールシェアやウォームシェアとしての場や機会の提供	13	13.5%
3 植樹や間伐などの森林保全活動への参加・開催	17	17.7%
4 希少動植物保全活動への参加・開催	6	6.3%
5 田植えや稲刈りなど水田の保全活動への参加・開催	6	6.3%
6 まちの緑化活動、美化活動への参加	56	58.3%
7 廃食油や資源物の回収などリサイクル活動への協力	21	21.9%
8 行政などが主催する環境講座などへ講師としての参加	5	5.2%
9 環境イベントへの参加（製品やパネルの展示など）	12	12.5%
10 自社の環境保全の取組の紹介	4	4.2%
11 その他	3	3.1%
99 不明	17	17.7%

合計 183



■『活動している（もしくは今後活動したい）のは、どのような内容か』については「まちの緑化活動、美化活動への参加」が58.3%と一番多く、次いで「商品購入時のマイバッグ持参の推奨」が24.0%、「廃食油や資源物の回収などリサイクル活動への協力」が21.9%の順となっている。

IV：長浜市の環境保全・対策について

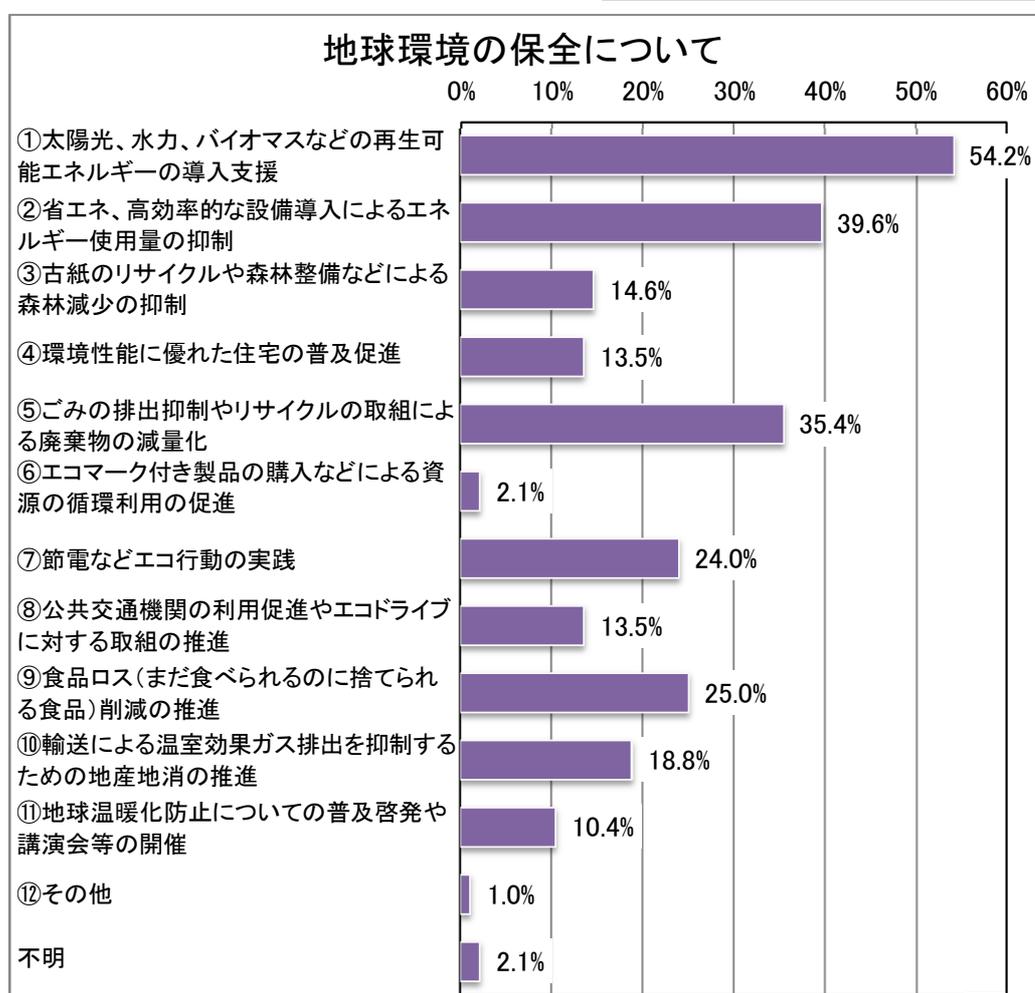
問10 環境保全を進めるために、市は今後10年間で、どのような施策を重点的に進めるべきだと思いますか。 (3つ以内に○)

【①地球環境の保全について】

	票数	割合
1 ①太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入支援	52	54.2%
2 ②省エネ、高効率な設備導入によるエネルギー使用量の抑制	38	39.6%
3 ③古紙のリサイクルや森林整備などによる森林減少の抑制	14	14.6%
4 ④環境性能に優れた住宅の普及促進	13	13.5%
5 ⑤ごみの排出抑制やリサイクルの取組による廃棄物の減量化	34	35.4%
6 ⑥エコマーク付き製品の購入などによる資源の循環利用の促進	2	2.1%
7 ⑦節電などエコ行動の実践	23	24.0%
8 ⑧公共交通機関の利用促進やエコドライブに対する取組の推進	13	13.5%
9 ⑨食品ロス(まだ食べられるのに捨てられる食品)削減の推進	24	25.0%
10 ⑩輸送による温室効果ガス排出を抑制するための地産地消の推進	18	18.8%
11 ⑪地球温暖化防止についての普及啓発や講演会等の開催	10	10.4%
12 ⑫その他	1	1.0%
99 不明	2	2.1%

合計 244

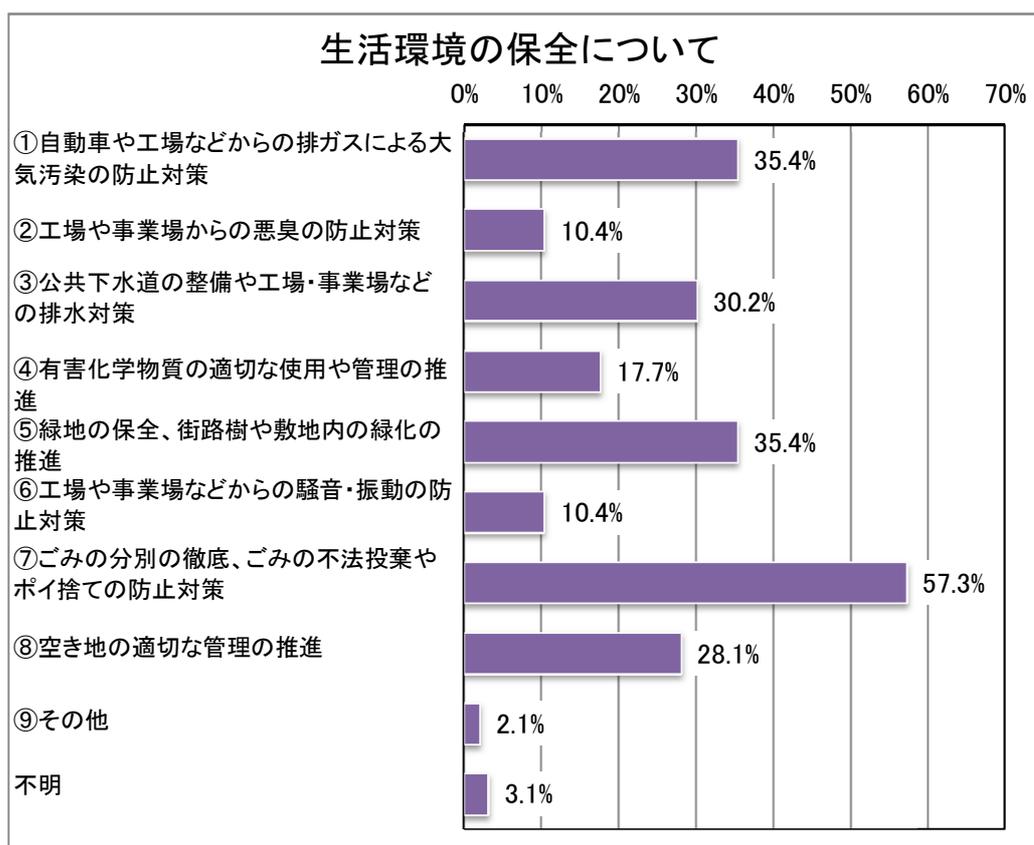
■『地球環境の保全』については「太陽光、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入支援」が54.2%と一番多く、次いで「省エネ、高効率な設備導入によるエネルギー使用量の抑制」が39.6%、「ごみの排出抑制やリサイクルの取組による廃棄物の減量化」が35.4%の順となっている。



【②生活環境の保全について】

	票数	割合
1 ①自動車や工場などからの排ガスによる大気汚染の防止対策	34	35.4%
2 ②工場や事業場からの悪臭の防止対策	10	10.4%
3 ③公共下水道の整備や工場・事業場などの排水対策	29	30.2%
4 ④有害化学物質の適切な使用や管理の推進	17	17.7%
5 ⑤緑地の保全、街路樹や敷地内の緑化の推進	34	35.4%
6 ⑥工場や事業場などからの騒音・振動の防止対策	10	10.4%
7 ⑦ごみの分別の徹底、ごみの不法投棄やポイ捨ての防止対策	55	57.3%
8 ⑧空き地の適切な管理の推進	27	28.1%
9 ⑨その他	2	2.1%
99 不明	3	3.1%
合計	221	

■『生活環境の保全』については「ごみの分別の徹底、ごみの不法投棄やポイ捨ての防止対策」が57.3%と一番多く、次いで「自動車や工場などからの排ガスによる大気汚染の防止対策」と「緑地の保全、街路樹や敷地内の緑化の推進」が35.4%、「公共下水道の整備や工場・事業場などの排水対策」が30.2%の順となっている。

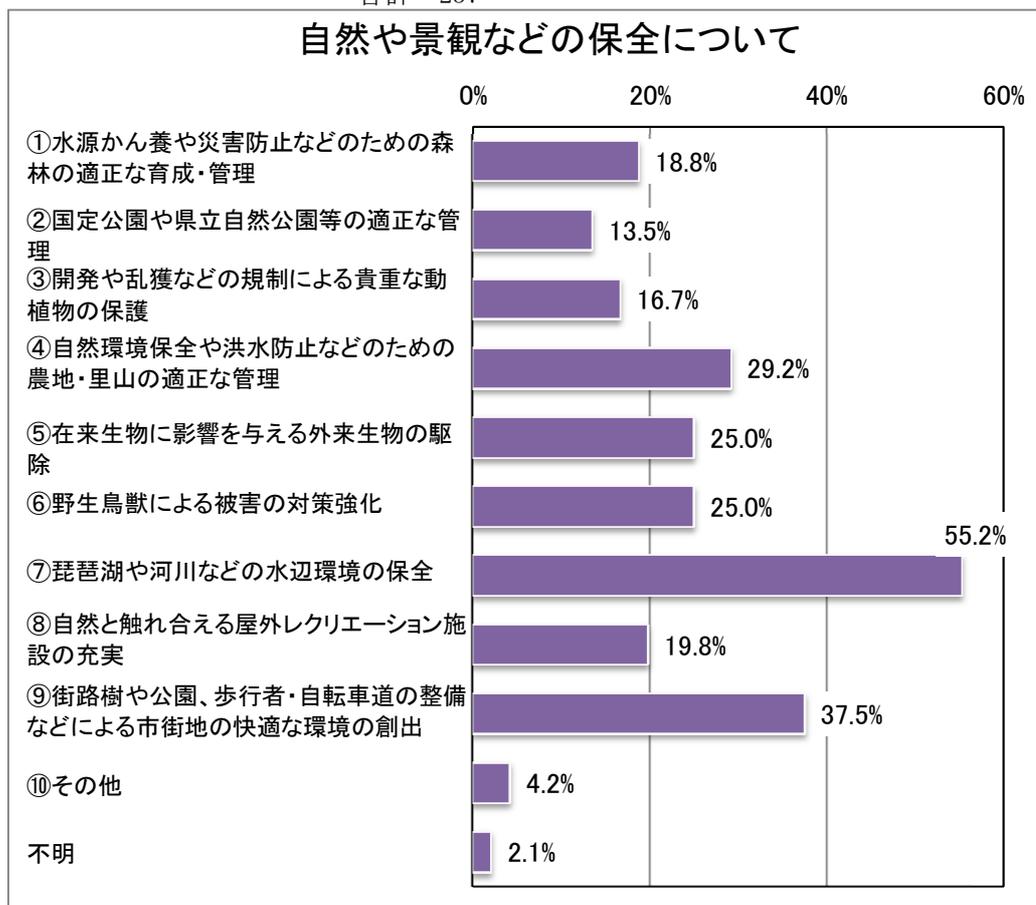


【③自然や景観などの保全について】

	票数	割合
1 ①水源かん養や災害防止などのための森林の適正な育成・管理	18	18.8%
2 ②国定公園や県立自然公園等の適正な管理	13	13.5%
3 ③開発や乱獲などの規制による貴重な動植物の保護	16	16.7%
4 ④自然環境保全や洪水防止などのための農地・里山の適正な管理	28	29.2%
5 ⑤在来生物に影響を与える外来生物の駆除	24	25.0%
6 ⑥野生鳥獣による被害の対策強化	24	25.0%
7 ⑦琵琶湖や河川などの水辺環境の保全	53	55.2%
8 ⑧自然と触れ合える屋外レクリエーション施設の充実	19	19.8%
9 ⑨街路樹や公園、歩行者・自転車道の整備などによる市街地の快適な環境の創出	36	37.5%
10 ⑩その他	4	4.2%
99 不明	2	2.1%

合計 237

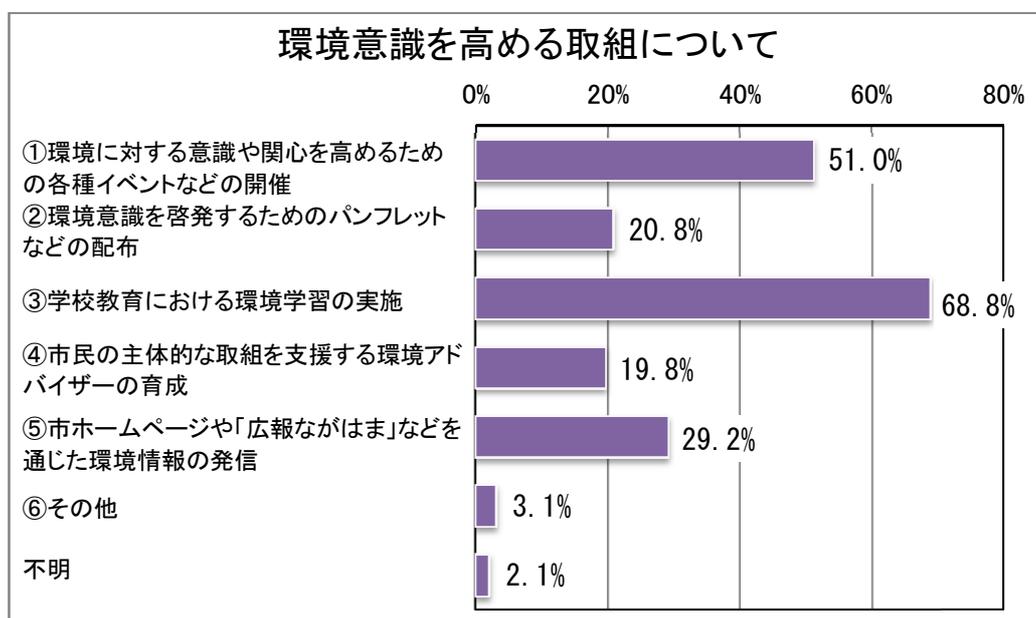
■『自然や景観などの保全』については「琵琶湖や河川などの水辺環境の保全」が55.2%と一番多く、次いで「街路樹や公園、歩行者・自転車道の整備などによる市街地の快適な環境の創出」が37.5%、「自然環境保全や洪水防止などのための農地・里山の適正な管理」が29.2%の順となっている。



【④環境意識を高める取組について】

	票数	割合
1 ①環境に対する意識や関心を高めるための各種イベントなどの開催	49	51.0%
2 ②環境意識を啓発するためのパンフレットなどの配布	20	20.8%
3 ③学校教育における環境学習の実施	66	68.8%
4 ④市民の主体的な取組を支援する環境アドバイザーの育成	19	19.8%
5 ⑤市ホームページや「広報ながはま」などを通じた環境情報の発信	28	29.2%
6 ⑥その他	3	3.1%
99 不明	2	2.1%
合計	187	

■『環境意識を高める取組』については「学校教育における環境学習の実施」が68.8%と一番多く、次いで「環境に対する意識や関心を高めるための各種イベントなどの開催」が51.0%、「市ホームページや「広報ながはま」などを通じた環境情報の発信」が29.2%の順となっている。



〈自由意見〉

分類	主な内容
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器のような環境配慮機器導入の助成金を拡充して頂きたい。 ・市庁舎の空調等が快適すぎる。市から改善。 ・防災向け太陽光（折りたたみ式 200W 相当）の導入・風力発電の導入など、環境保全プラスエネルギーを創る（創エネ）方向へ力を入れるべきではないか。
琵琶湖	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜の宝の一つは何と言っても琵琶湖であると思う。市民も長浜を訪れる人にも、もっと琵琶湖を感じてもらえる環境をつくり、大自然の恵みと有難さを強く印象付けて行く事が大切と思う。
取組体制・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体で出来る取り組みがあれば良いなと思う。 ・長浜市と企業で、自然環境の保全、改善を進めていける様、より良い連携の為協力していきたいと考えている。 ・環境は見えないゴールに向かう分りにくい活動である。何を指すのか、どこに行けば達成なのか見えづらいので具体的な目標値、到達点を示すことが大切。やみくもに「やりましょう」と言っても白けるだけ。それなら「市役所の電気を半分にしろ」となる。
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所近隣へのごみの不法投棄や車からの投げ捨てが無くならない。監視や罰則の強化をお願いしたい。